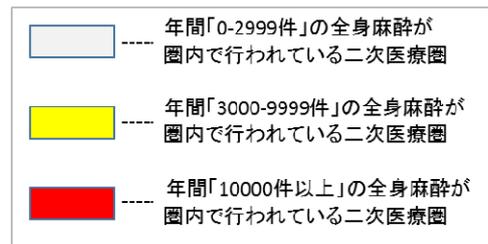
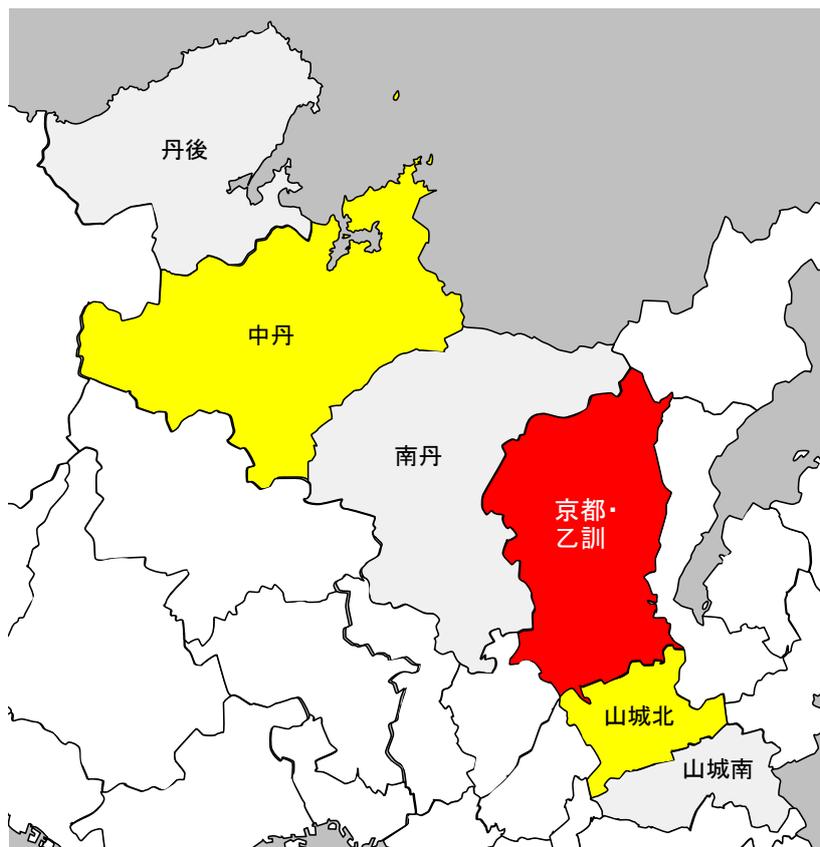


26. 京都府



目次

京都府	26	-	3
1. 丹後医療圏	26	-	9
2. 中丹医療圏	26	-	15
3. 南丹医療圏	26	-	21
4. 京都・乙訓医療圏	26	-	27
5. 山城北医療圏	26	-	33
6. 山城南医療圏	26	-	39

京都府

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は19,239人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1,815人(28%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は314人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

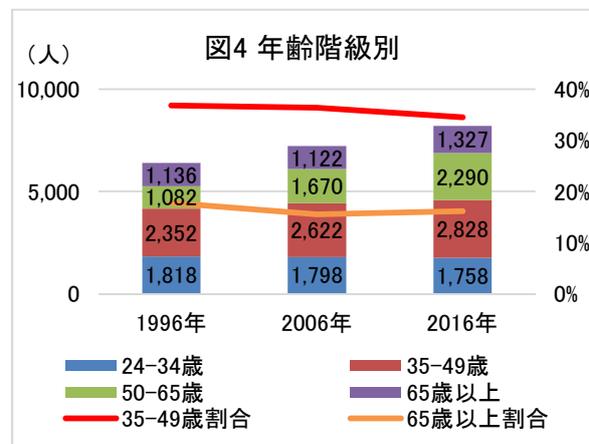
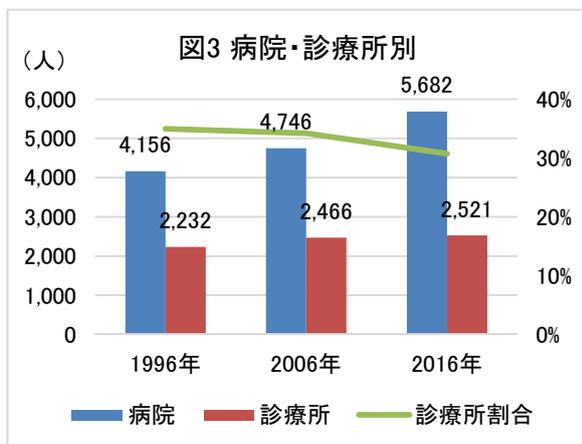
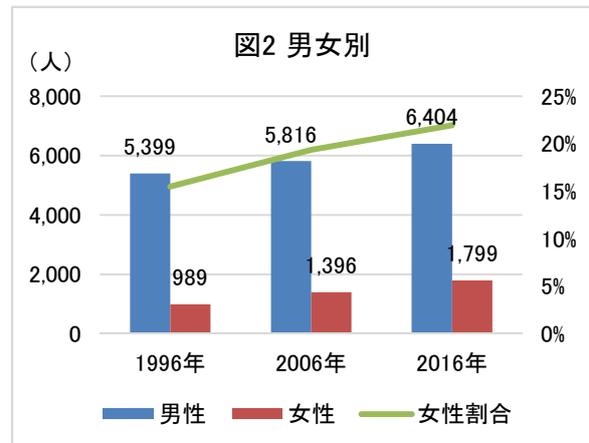
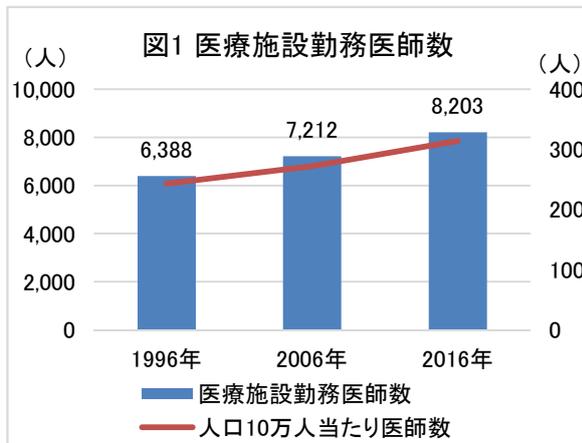
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて1,005人(19%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に810人(82%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は22%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1,526人(37%)増え、全国平均(37%)と同程度の増加率である。診療所医師は、同期間に289人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は476人(20%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて191人(17%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年16%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

京都府

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,629,592	2,647,660	2,610,353	-19,239	-1%	18,068	1%	-37,307	-1%	
総医師数	6,714	7,719	8,723	2,009	30%	1,005	15%	1,004	13%	
人口10万対	255.3	291.5	334.2	78.8	31%	36.2	14%	42.6	15%	
医療施設勤務医師数	6,388	7,212	8,203	1,815	28%	824	13%	991	14%	
人口10万対	242.9	272.4	314.2	71.3	29%	29.5	12%	41.9	15%	
男性医師数	5,399	5,816	6,404	1,005	19%	417	8%	588	10%	
人口10万対	205.3	219.7	245.3	40.0	19%	14.3	7%	25.7	12%	
女性医師数	989	1,396	1,799	810	82%	407	41%	403	29%	
人口10万対	37.6	52.7	68.9	31.3	83%	15.1	40%	16.2	31%	
病院勤務医師数	4,156	4,746	5,682	1,526	37%	590	14%	936	20%	
人口10万対	158.0	179.3	217.7	59.6	38%	21.2	13%	38.4	21%	
診療所勤務医師数	2,232	2,466	2,521	289	13%	234	10%	55	2%	
人口10万対	84.9	93.1	96.6	11.7	14%	8.3	10%	3.4	4%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.7	47.6	48.9	2.2	5%	0.9	2%	1.3	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,818	1,798	1,758	-60	-3%	-20	-1%	-40	-2%
	35-49歳	2,352	2,622	2,828	476	20%	270	11%	206	8%
	50-64歳	1,082	1,670	2,290	1,208	112%	588	54%	620	37%
	65歳以上	1,136	1,122	1,327	191	17%	-14	-1%	205	18%
	75歳以上(再掲)	260	522	473	213	82%	262	101%	-49	-9%
男性	24-34歳	1,420	1,225	1,212	-208	-15%	-195	-14%	-13	-1%
	35-49歳	2,057	2,166	2,104	47	2%	109	5%	-62	-3%
	50-64歳	970	1,458	1,903	933	96%	488	50%	445	31%
	65歳以上	952	967	1,185	233	24%	15	2%	218	23%
	75歳以上(再掲)	219	433	419	200	91%	214	98%	-14	-3%
女性	24-34歳	398	573	546	148	37%	175	44%	-27	-5%
	35-49歳	295	456	724	429	145%	161	55%	268	59%
	50-64歳	112	212	387	275	246%	100	89%	175	83%
	65歳以上	184	155	142	-42	-23%	-29	-16%	-13	-8%
	75歳以上(再掲)	41	89	54	13	32%	48	117%	-35	-39%
病院	24-34歳	1,768	1,752	1,740	-28	-2%	-16	-1%	-12	-1%
	35-49歳	1,771	2,003	2,306	535	30%	232	13%	303	15%
	50-64歳	440	766	1,247	807	183%	326	74%	481	63%
	65歳以上	177	225	389	212	120%	48	27%	164	73%
	75歳以上(再掲)	36	85	97	61	169%	49	136%	12	14%
診療所	24-34歳	50	46	18	-32	-64%	-4	-8%	-28	-61%
	35-49歳	581	619	522	-59	-10%	38	7%	-97	-16%
	50-64歳	642	904	1,043	401	62%	262	41%	139	15%
	65歳以上	959	897	938	-21	-2%	-62	-6%	41	5%
	75歳以上(再掲)	224	437	376	152	68%	213	95%	-61	-14%
	85歳以上(再掲)	34	34	98	64	188%	0	0%	64	188%

京都府

<医師数の推移>

京都府において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	6,388	242.9	57	7,212	272.4	58	8,203	314.2	58	1,815	28%	71.3	29%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	2,744	104.4	59	2,816	106.4	60	3,152	120.7	60	408	15%	16.4	16%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	397	15.1	59	391	14.8	57	439	16.8	56	42	11%	1.7	11%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	222	8.4	51	294	11.1	53	353	13.5	52	131	59%	5.1	60%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	753	28.6	59	628	23.7	58	746	28.6	63	-7	-1%	-0.1	0%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	17	0.6	53	22	0.8	55	37	1.4	62	20	118%	0.8	119%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	57	2.2	54	77	2.9	55	76	2.9	52	19	33%	0.7	34%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	141	5.4	53	137	5.2	51	164	6.3	52	23	16%	0.9	17%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	419	15.9	56	508	19.2	59	529	20.3	57	110	26%	4.3	27%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	39	1.5	54	49	1.9	53	66	2.5	53	27	69%	1.0	70%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	169	6.4	53	191	7.2	53	238	9.1	55	69	41%	2.7	42%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	312	11.9	57	328	12.4	57	327	12.5	55	15	5%	0.7	6%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	228	8.7	55	242	9.1	57	271	10.4	60	43	19%	1.7	20%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	153	5.8	57	168	6.3	57	191	7.3	57	38	25%	1.5	26%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	335	12.7	57	293	11.1	55	297	11.4	52	-38	-11%	-1.4	-11%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	11	0.4	46	19	0.7	44	57	2.2	51	46	418%	1.8	422%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	133	5.1	56	157	5.9	57	233	8.9	60	100	75%	3.9	76%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	130	4.9	53	159	6.0	53	236	9.0	54	106	82%	4.1	83%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				31	1.2	49	90	3.4	54	59	190%	2.3	194%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				465	17.6	57	431	16.5	54	431	-7%	-1.1	-6%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	128	4.9	51	237	9.0	57	270	10.3	55	142	111%	5.5	112%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

京都府

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は285,215人(-11%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1,665人(20%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は424人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は35%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

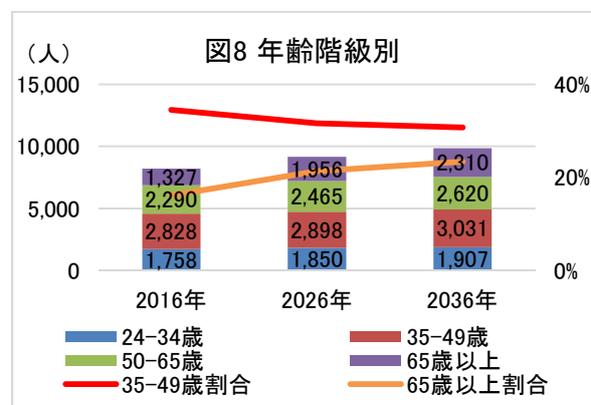
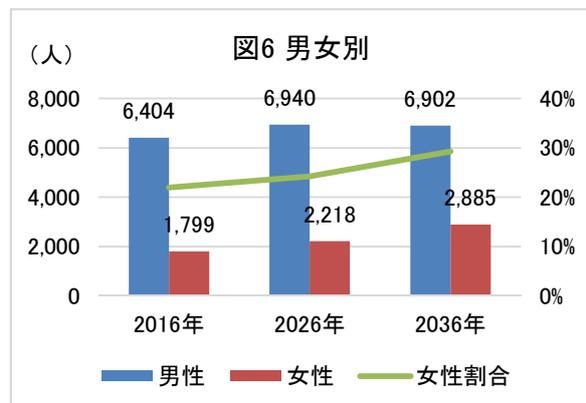
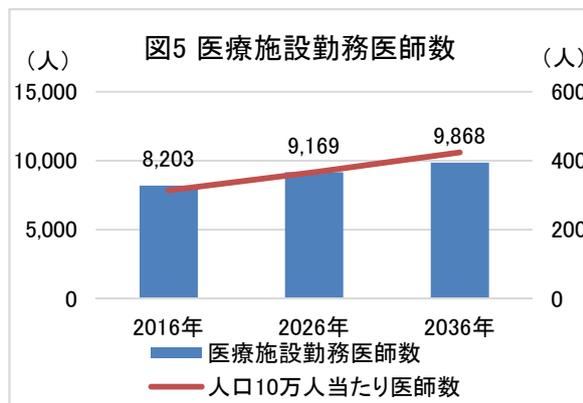
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて498人(8%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に1,086人(60%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は29%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1,360人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に265人(-11%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は203人(7%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて983人(74%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年23%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



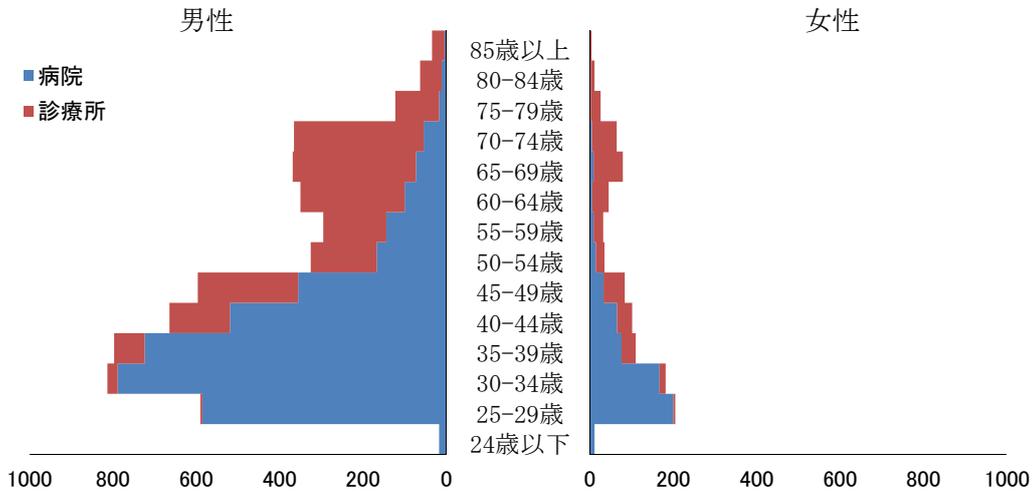
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

京都府

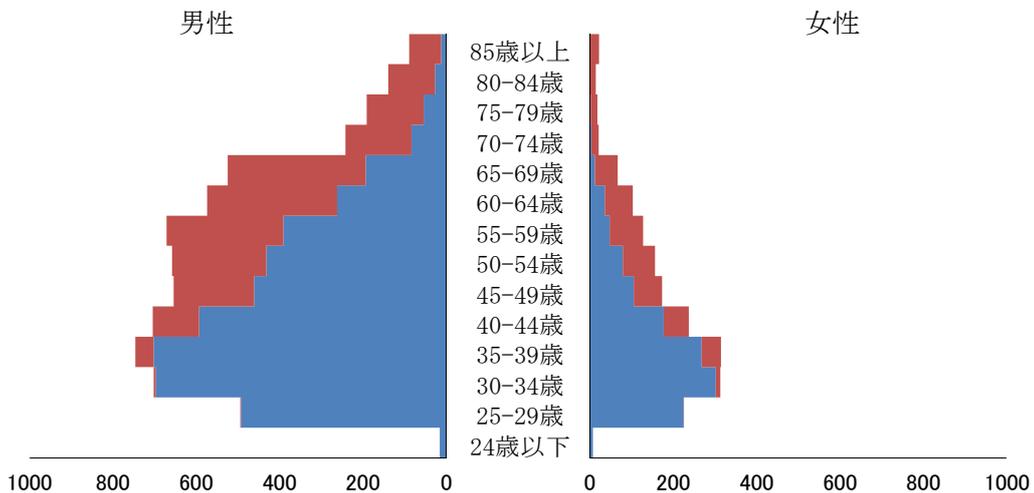
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

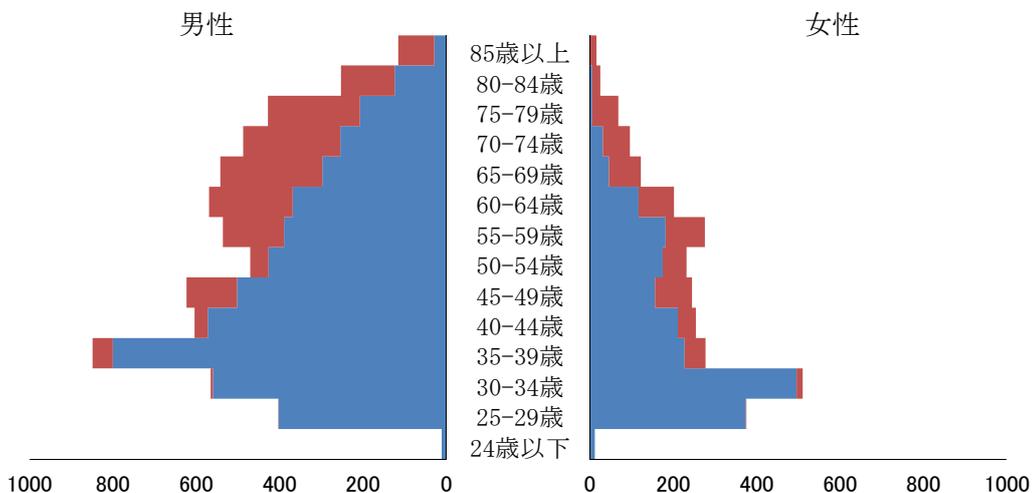
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

京都府

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	2,610,353	2,499,460	2,325,138	-285,215	-11%	-110,893	-4%	-174,322	-7%	
医療施設勤務医師数	8,203	9,169	9,868	1,665	20%	966	12%	699	8%	
人口10万対	314.2	366.8	424.4	110.2	35%	52.6	17%	57.6	16%	
男性医師数	6,404	6,940	6,902	498	8%	536	8%	-38	-1%	
人口10万対	245.3	277.7	296.8	51.5	21%	32.3	13%	19.2	7%	
女性医師数	1,799	2,218	2,885	1,086	60%	419	23%	667	30%	
人口10万対	68.9	88.7	124.1	55.2	80%	19.8	29%	35.3	40%	
病院勤務医師数	5,682	6,445	7,042	1,360	24%	763	13%	597	9%	
人口10万対	217.7	257.9	302.9	85.2	39%	40.2	18%	45.0	17%	
診療所勤務医師数	2,521	2,497	2,256	-265	-11%	-24	-1%	-241	-10%	
人口10万対	96.6	99.9	97.0	0.4	0%	3.3	3%	-2.9	-3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,758	1,850	1,907	149	8%	92	5%	57	3%
	35-49歳	2,828	2,898	3,031	203	7%	70	2%	133	5%
	50-64歳	2,290	2,465	2,620	330	14%	175	8%	155	6%
	65歳以上	1,327	1,956	2,310	983	74%	629	47%	354	18%
	75歳以上(再掲)	473	663	942	469	99%	190	40%	279	42%
男性	24-34歳	1,212	1,275	981	-231	-19%	63	5%	-294	-23%
	35-49歳	2,104	2,065	2,173	69	3%	-39	-2%	108	5%
	50-64歳	1,903	1,903	1,827	-76	-4%	0	0%	-76	-4%
	65歳以上	1,185	1,697	1,921	736	62%	512	43%	224	13%
	75歳以上(再掲)	419	596	817	398	95%	177	42%	221	37%
女性	24-34歳	546	573	894	348	64%	27	5%	321	56%
	35-49歳	724	823	785	61	8%	99	14%	-38	-5%
	50-64歳	387	575	843	456	118%	188	49%	268	47%
	65歳以上	142	247	363	221	156%	105	74%	116	47%
	75歳以上(再掲)	54	61	108	54	100%	7	13%	47	77%
病院	24-34歳	1,740	1,831	1,888	148	9%	91	5%	57	3%
	35-49歳	2,306	2,393	2,499	193	8%	87	4%	106	4%
	50-64歳	1,247	1,474	1,632	385	31%	227	18%	158	11%
	65歳以上	389	747	1,023	634	163%	358	92%	276	37%
	75歳以上(再掲)	97	197	379	282	291%	100	103%	182	92%
診療所	24-34歳	18	18	19	1	6%	0	0%	1	6%
	35-49歳	522	390	398	-124	-24%	-132	-25%	8	2%
	50-64歳	1,043	914	668	-375	-36%	-129	-12%	-246	-27%
	65歳以上	938	1,175	1,171	233	25%	237	25%	-4	0%
	75歳以上(再掲)	376	465	544	168	45%	89	24%	79	17%
	85歳以上(再掲)	98	85	103	5	5%	-13	-13%	18	21%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

丹後医療圏

< 医師数の推移 >

1996年から2016年にかけて、総人口は24,021人(-20%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は8人(5%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は172人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は31%増え、その伸び率は全国平均(31%)と同程度である。

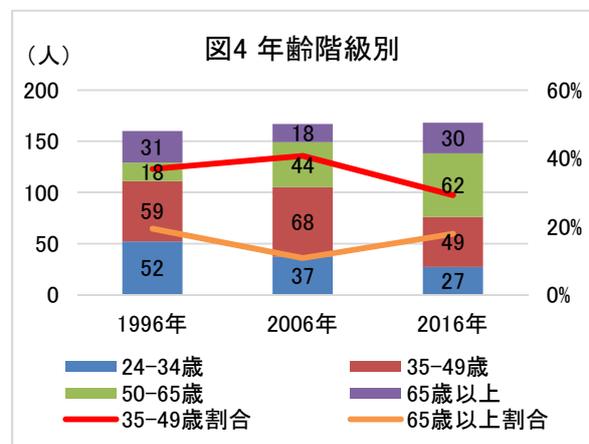
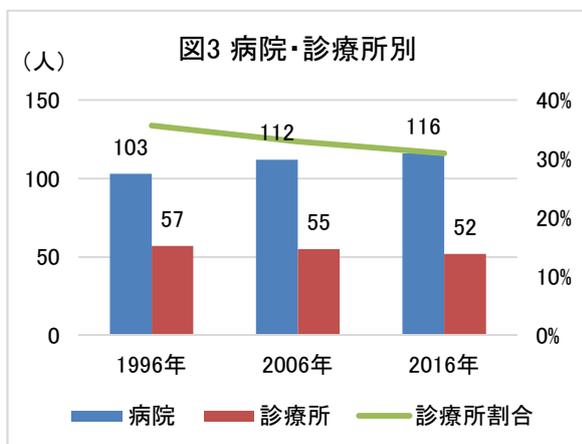
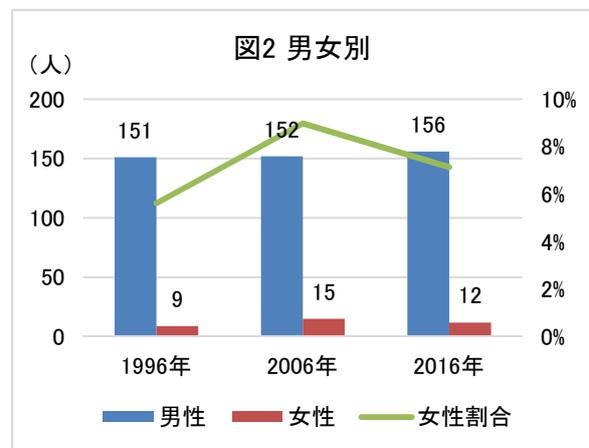
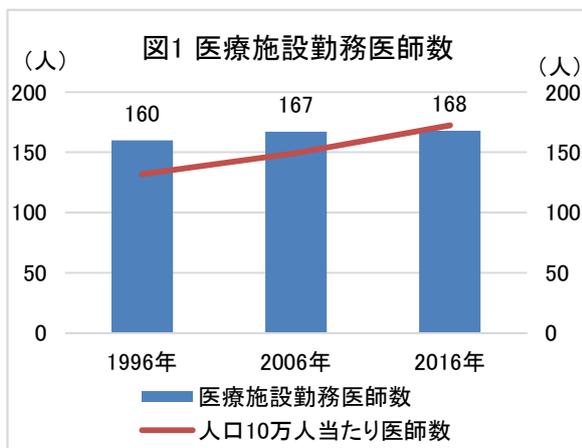
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて5人(3%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(33%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は7%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて13人(13%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(-9%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は10人(-17%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(-3%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

丹後医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	121,445	111,859	97,424	-24,021	-20%	-9,586	-8%	-14,435	-13%	
総医師数	164	174	172	8	5%	10	6%	-2	-1%	
人口10万対	135.0	155.6	176.5	41.5	31%	20.5	15%	21.0	13%	
医療施設勤務医師数	160	167	168	8	5%	7	4%	1	1%	
人口10万対	131.7	149.3	172.4	40.7	31%	17.5	13%	23.1	16%	
男性医師数	151	152	156	5	3%	1	1%	4	3%	
人口10万対	124.3	135.9	160.1	35.8	29%	11.5	9%	24.2	18%	
女性医師数	9	15	12	3	33%	6	67%	-3	-20%	
人口10万対	7.4	13.4	12.3	4.9	66%	6.0	81%	-1.1	-8%	
病院勤務医師数	103	112	116	13	13%	9	9%	4	4%	
人口10万対	84.8	100.1	119.1	34.3	40%	15.3	18%	18.9	19%	
診療所勤務医師数	57	55	52	-5	-9%	-2	-4%	-3	-5%	
人口10万対	46.9	49.2	53.4	6.4	14%	2.2	5%	4.2	9%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.9	47.4	51.3	5.4	12%	1.5	3%	4.0	8%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	52	37	27	-25	-48%	-15	-29%	-10	-27%
	35-49歳	59	68	49	-10	-17%	9	15%	-19	-28%
	50-64歳	18	44	62	44	244%	26	144%	18	41%
	65歳以上	31	18	30	-1	-3%	-13	-42%	12	67%
	75歳以上(再掲)	9	13	3	-6	-67%	4	44%	-10	-77%
男性	24-34歳	50	28	25	-25	-50%	-22	-44%	-3	-11%
	35-49歳	57	65	42	-15	-26%	8	14%	-23	-35%
	50-64歳	17	42	60	43	253%	25	147%	18	43%
	65歳以上	27	17	29	2	7%	-10	-37%	12	71%
	75歳以上(再掲)	7	12	3	-4	-57%	5	71%	-9	-75%
女性	24-34歳	2	9	2	0	0%	7	350%	-7	-78%
	35-49歳	2	3	7	5	250%	1	50%	4	133%
	50-64歳	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
	65歳以上	4	1	1	-3	-75%	-3	-75%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
病院	24-34歳	49	36	27	-22	-45%	-13	-27%	-9	-25%
	35-49歳	42	51	39	-3	-7%	9	21%	-12	-24%
	50-64歳	9	20	36	27	300%	11	122%	16	80%
	65歳以上	3	5	14	11	367%	2	67%	9	180%
	75歳以上(再掲)	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
診療所	24-34歳	3	1	0	-3	-100%	-2	-67%	-1	-100%
	35-49歳	17	17	10	-7	-41%	0	0%	-7	-41%
	50-64歳	9	24	26	17	189%	15	167%	2	8%
	65歳以上	28	13	16	-12	-43%	-15	-54%	3	23%
	75歳以上(再掲)	8	11	1	-7	-88%	3	38%	-10	-91%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

丹後医療圏

＜医師数の推移＞

丹後医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、泌尿器科であり、少ない診療科は、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、皮膚科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	160	131.7	44	167	149.3	43	168	172.4	42	8	5%	40.7	31%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	75	61.8	46	75	67.0	46	77	79.0	47	2	3%	17.3	28%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	8	6.6	40	7	6.3	38	11	11.3	46	3	38%	4.7	71%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	1	0.8	32	2	1.8	32	2	2.1	31	1	100%	1.2	149%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	28	23.1	53	20	17.9	50	17	17.4	48	-11	-39%	-5.6	-24%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	2.5	42	3	2.7	41	1	1.0	32	-2	-67%	-1.4	-58%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	12	9.9	43	13	11.6	43	17	17.4	51	5	42%	7.6	77%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	0.8	37	3	2.7	39	4	4.1	42	3	300%	3.3	399%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	6	4.9	42	8	7.2	44	8	8.2	45	2	33%	3.3	66%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	3.3	39	4	3.6	39	3	3.1	37	-1	-25%	-0.2	-7%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	5	4.1	50	5	4.5	49	7	7.2	56	2	40%	3.1	75%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	13	10.7	52	8	7.2	45	7	7.2	43	-6	-46%	-3.5	-33%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.9	45	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	1	0.9	40	3	3.1	44	3	3	3.1	3.1
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.6	43	4	3.6	46	7	7.2	50	5	250%	5.5	336%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	2	2.1	48	2	2	2.1	2.1
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				11	9.8	48	0	0.0	36	0	-100%	-9.8	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	1.6	44	2	1.8	43	2	2.1	41	0	0%	0.4	25%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

丹後医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は25,268人(-26%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1人(-1%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は231人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

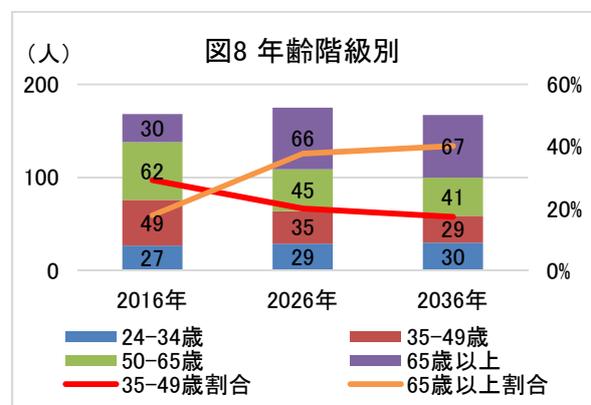
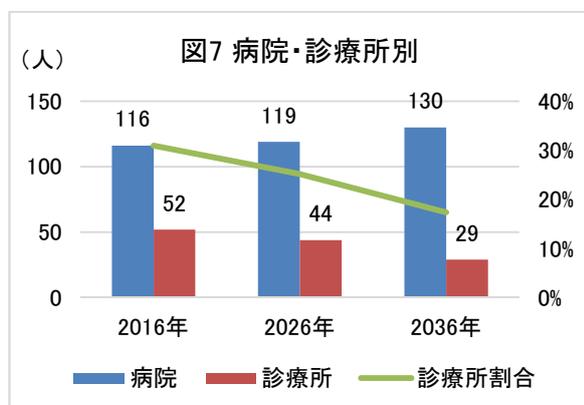
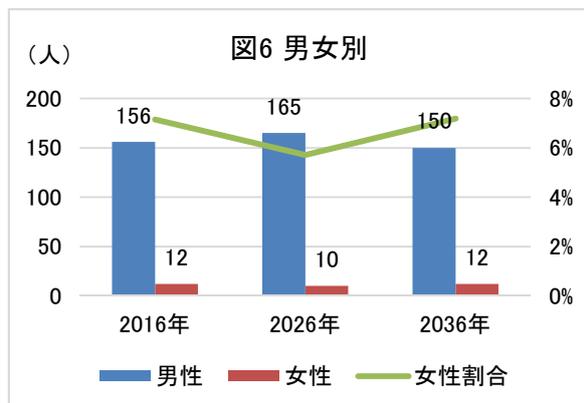
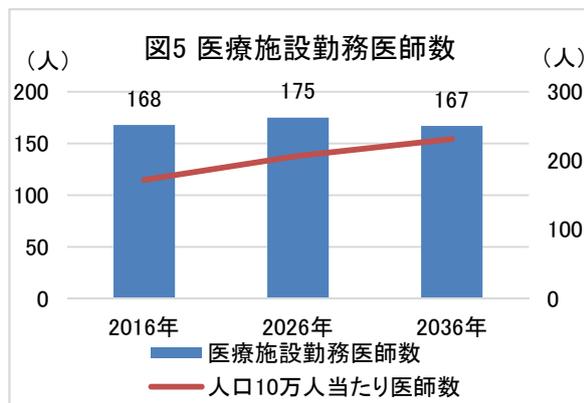
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて6人(-4%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は7%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて14人(12%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に23人(-44%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は17%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は20人(-41%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて37人(123%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年40%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



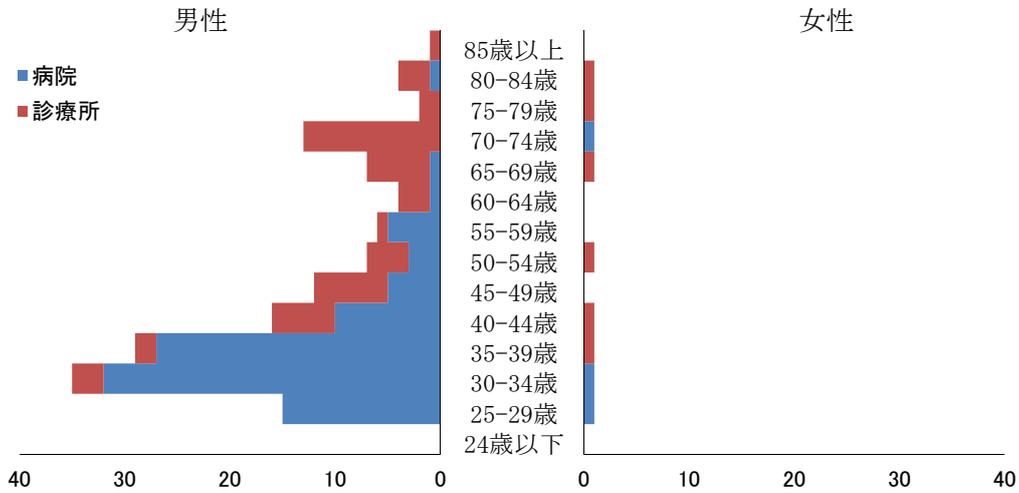
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

丹後医療圏

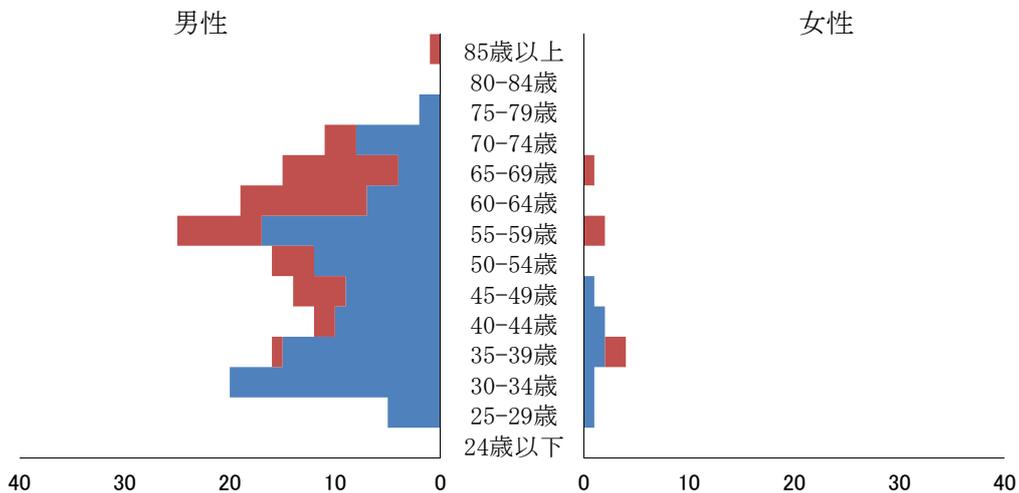
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

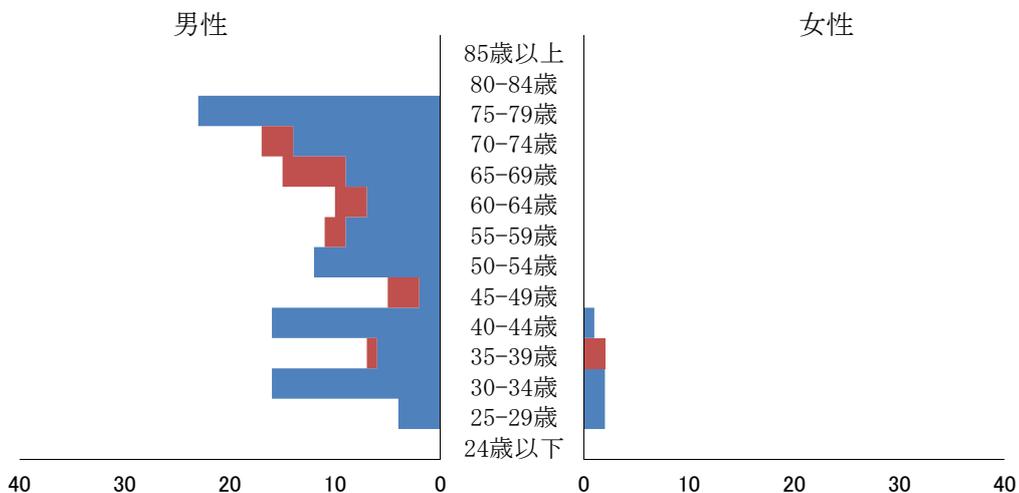
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去（2006年から2016年まで）のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。（ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した）

丹後医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	97,424	84,578	72,156	-25,268	-26%	-12,846	-13%	-12,422	-15%	
医療施設勤務医師数	168	175	167	-1	-1%	7	4%	-8	-5%	
人口10万対	172.4	206.9	231.4	59.0	34%	34.5	20%	24.5	12%	
男性医師数	156	165	150	-6	-4%	9	6%	-15	-9%	
人口10万対	160.1	195.1	207.9	47.8	30%	35.0	22%	12.8	7%	
女性医師数	12	10	12	0	0%	-2	-17%	2	20%	
人口10万対	12.3	11.8	16.6	4.3	35%	-0.5	-4%	4.8	41%	
病院勤務医師数	116	119	130	14	12%	3	3%	11	9%	
人口10万対	119.1	140.7	180.2	61.1	51%	21.6	18%	39.5	28%	
診療所勤務医師数	52	44	29	-23	-44%	-8	-15%	-15	-34%	
人口10万対	53.4	52.0	40.2	-13.2	-25%	-1.4	-3%	-11.8	-23%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	27	29	30	3	11%	2	7%	1	3%
	35-49歳	49	35	29	-20	-41%	-14	-29%	-6	-17%
	50-64歳	62	45	41	-21	-34%	-17	-27%	-4	-9%
	65歳以上	30	66	67	37	123%	36	120%	1	2%
	75歳以上(再掲)	3	16	32	29	967%	13	433%	16	100%
男性	24-34歳	25	26	20	-5	-20%	1	4%	-6	-23%
	35-49歳	42	33	29	-13	-31%	-9	-21%	-4	-12%
	50-64歳	60	41	35	-25	-42%	-19	-32%	-6	-15%
	65歳以上	29	65	66	37	128%	36	124%	1	2%
	75歳以上(再掲)	3	15	30	27	900%	12	400%	15	100%
女性	24-34歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	35-49歳	7	4	2	-5	-71%	-3	-43%	-2	-50%
	50-64歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	65歳以上	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	27	29	30	3	11%	2	7%	1	3%
	35-49歳	39	28	24	-15	-38%	-11	-28%	-4	-14%
	50-64歳	36	34	30	-6	-17%	-2	-6%	-4	-12%
	65歳以上	14	28	46	32	229%	14	100%	18	64%
	75歳以上(再掲)	2	8	23	21	1050%	6	300%	15	188%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	10	11	11	1	10%	1	10%	0	0%
	50-64歳	26	11	9	-17	-65%	-15	-58%	-2	-18%
	65歳以上	16	22	9	-7	-44%	6	38%	-13	-59%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	85歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中丹医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は20,574人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-2%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は215人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は9%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

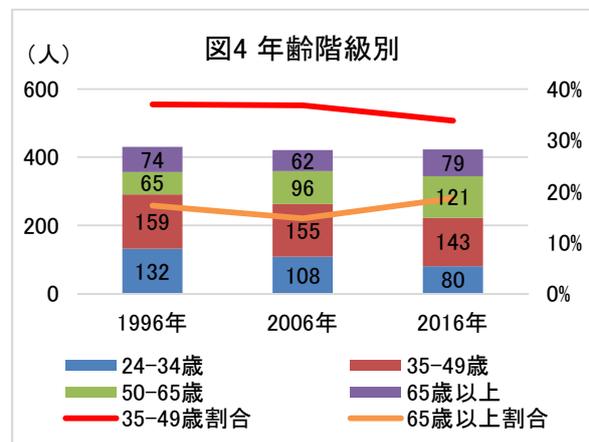
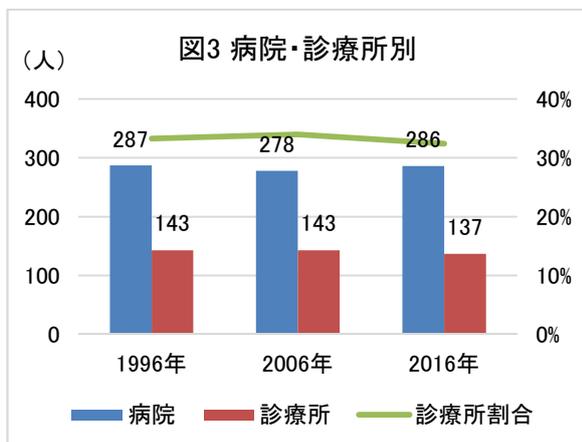
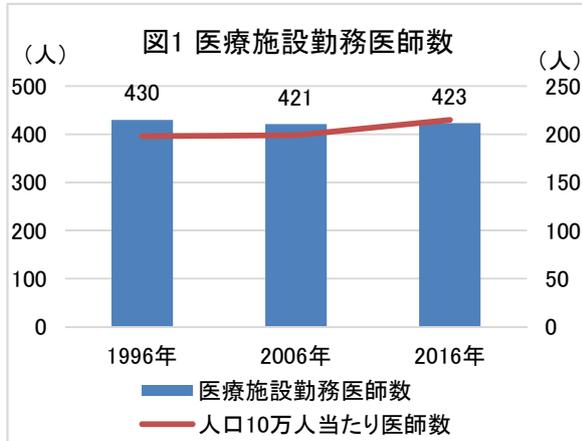
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて19人(-5%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に12人(35%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は11%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1人(0%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に6人(-4%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は16人(-10%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて5人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年19%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

中丹医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	217,320	211,465	196,746	-20,574	-9%	-5,855	-3%	-14,719	-7%	
総医師数	438	431	435	-3	-1%	-7	-2%	4	1%	
人口10万対	201.5	203.8	221.1	19.6	10%	2.3	1%	17.3	8%	
医療施設勤務医師数	430	421	423	-7	-2%	-9	-2%	2	0%	
人口10万対	197.9	199.1	215.0	17.1	9%	1.2	1%	15.9	8%	
男性医師数	396	372	377	-19	-5%	-24	-6%	5	1%	
人口10万対	182.2	175.9	191.6	9.4	5%	-6.3	-3%	15.7	9%	
女性医師数	34	49	46	12	35%	15	44%	-3	-6%	
人口10万対	15.6	23.2	23.4	7.7	49%	7.5	48%	0.2	1%	
病院勤務医師数	287	278	286	-1	0%	-9	-3%	8	3%	
人口10万対	132.1	131.5	145.4	13.3	10%	-0.6	0%	13.9	11%	
診療所勤務医師数	143	143	137	-6	-4%	0	0%	-6	-4%	
人口10万対	65.8	67.6	69.6	3.8	6%	1.8	3%	2.0	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.0	47.4	50.3	4.3	9%	1.4	3%	2.9	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	132	108	80	-52	-39%	-24	-18%	-28	-26%
	35-49歳	159	155	143	-16	-10%	-4	-3%	-12	-8%
	50-64歳	65	96	121	56	86%	31	48%	25	26%
	65歳以上	74	62	79	5	7%	-12	-16%	17	27%
	75歳以上(再掲)	28	30	28	0	0%	2	7%	-2	-7%
男性	24-34歳	115	81	61	-54	-47%	-34	-30%	-20	-25%
	35-49歳	154	142	125	-29	-19%	-12	-8%	-17	-12%
	50-64歳	64	91	116	52	81%	27	42%	25	27%
	65歳以上	63	58	75	12	19%	-5	-8%	17	29%
	75歳以上(再掲)	20	27	27	7	35%	7	35%	0	0%
女性	24-34歳	17	27	19	2	12%	10	59%	-8	-30%
	35-49歳	5	13	18	13	260%	8	160%	5	38%
	50-64歳	1	5	5	4	400%	4	400%	0	0%
	65歳以上	11	4	4	-7	-64%	-7	-64%	0	0%
	75歳以上(再掲)	8	3	1	-7	-88%	-5	-63%	-2	-67%
病院	24-34歳	127	106	79	-48	-38%	-21	-17%	-27	-25%
	35-49歳	119	122	121	2	2%	3	3%	-1	-1%
	50-64歳	31	39	63	32	103%	8	26%	24	62%
	65歳以上	10	11	23	13	130%	1	10%	12	109%
	75歳以上(再掲)	4	4	8	4	100%	0	0%	4	100%
診療所	24-34歳	5	2	1	-4	-80%	-3	-60%	-1	-50%
	35-49歳	40	33	22	-18	-45%	-7	-18%	-11	-33%
	50-64歳	34	57	58	24	71%	23	68%	1	2%
	65歳以上	64	51	56	-8	-13%	-13	-20%	5	10%
	75歳以上(再掲)	24	26	20	-4	-17%	2	8%	-6	-23%
	85歳以上(再掲)	4	6	7	3	75%	2	50%	1	17%

中丹医療圏

＜医師数の推移＞

中丹医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、放射線科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、脳神経外科、皮膚科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	430	197.9	52	421	199.1	49	423	215.0	47	-7	-2%	17.1	9%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	182	83.7	53	163	77.1	50	159	80.8	47	-23	-13%	-2.9	-4%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	26	12.0	52	21	9.9	46	28	14.2	52	2	8%	2.3	19%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	17	7.8	49	28	13.2	58	25	12.7	51	8	47%	4.9	62%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	57	26.2	56	42	19.9	52	42	21.3	53	-15	-26%	-4.9	-19%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	2	0.9	57	1	0.5	48	1		0.5	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	3	1.4	48	3	1.4	46	3	1.5	45	0	0%	0.1	10%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	10	4.6	50	7	3.3	43	8	4.1	43	-2	-20%	-0.5	-12%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	32	14.7	53	30	14.2	49	33	16.8	50	1	3%	2.0	14%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.5	43	1	0.5	40	1		0.5	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	10	4.6	48	11	5.2	47	9	4.6	43	-1	-10%	-0.0	-1%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	20	9.2	51	27	12.8	57	23	11.7	53	3	15%	2.5	27%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	15	6.9	50	14	6.6	49	16	8.1	53	1	7%	1.2	18%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	12	5.5	56	13	6.1	56	13	6.6	54	1	8%	1.1	20%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	26	12.0	55	17	8.0	47	17	8.6	46	-9	-35%	-3.3	-28%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	0.5	42	4	2.0	51	4		2.0	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	6	2.8	48	10	4.7	53	6	3.0	44	0	0%	0.3	10%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	7	3.2	48	6	2.8	44	9	4.6	44	2	29%	1.4	42%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				2	0.9	47	3	1.5	45	1	50%	0.6	61%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				18	8.5	47	19	9.7	46	19	6%	1.1	13%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	7	3.2	47	5	2.4	44	4	2.0	41	-3	-43%	-1.2	-37%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

中丹医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は36,987人(-19%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は16人(4%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は275人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

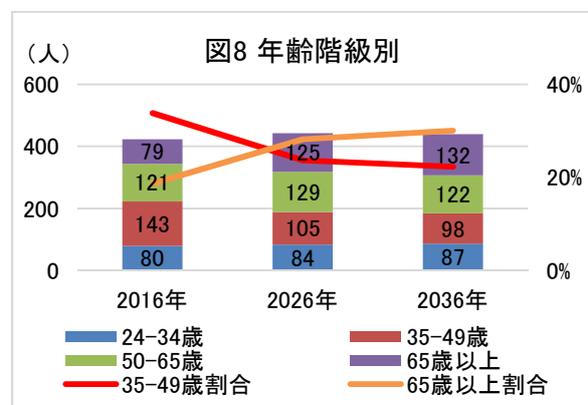
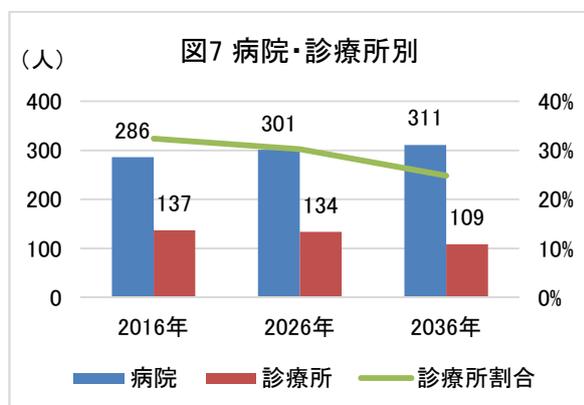
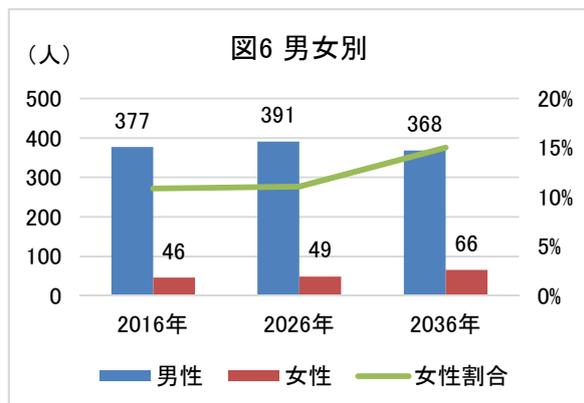
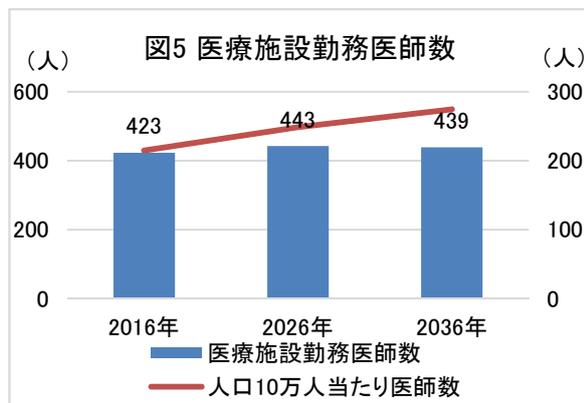
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて9人(-2%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に20人(43%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は15%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて25人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に28人(-20%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は45人(-31%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて53人(67%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



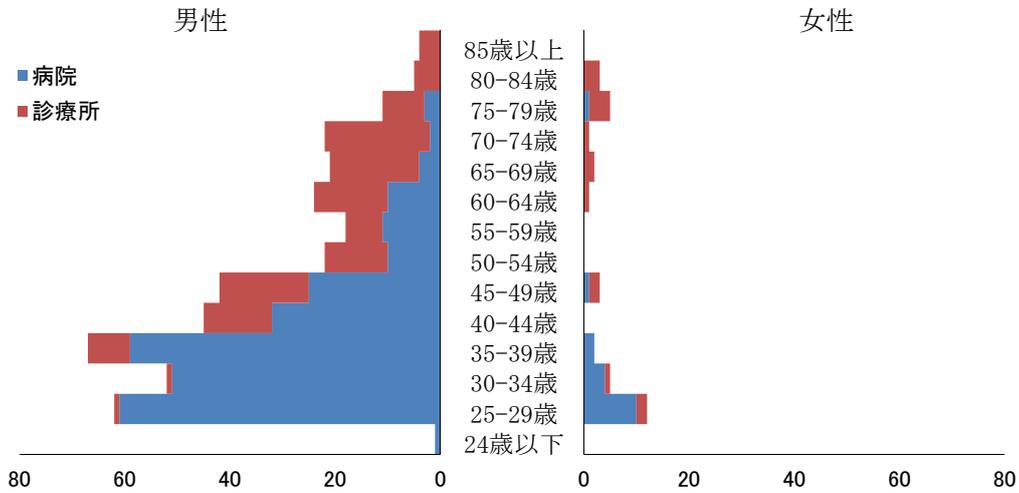
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中丹医療圏

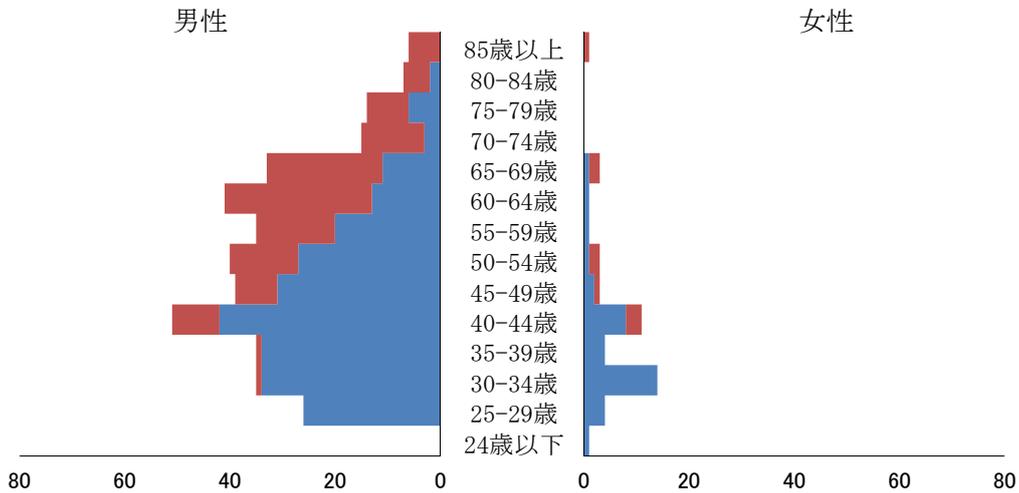
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

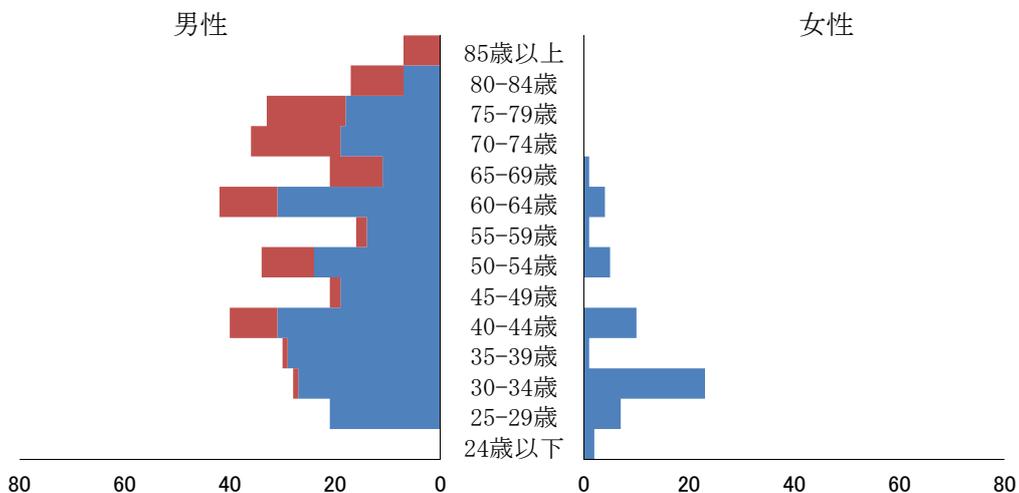
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中丹医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	196,746	178,181	159,759	-36,987	-19%	-18,565	-9%	-18,422	-10%	
医療施設勤務医師数	423	443	439	16	4%	20	5%	-4	-1%	
人口10万対	215.0	248.6	274.8	59.8	28%	33.6	16%	26.2	11%	
男性医師数	377	391	368	-9	-2%	14	4%	-23	-6%	
人口10万対	191.6	219.4	230.3	38.7	20%	27.8	15%	10.9	5%	
女性医師数	46	49	66	20	43%	3	7%	17	35%	
人口10万対	23.4	27.5	41.3	17.9	77%	4.1	18%	13.8	50%	
病院勤務医師数	286	301	311	25	9%	15	5%	10	3%	
人口10万対	145.4	168.9	194.7	49.3	34%	23.6	16%	25.7	15%	
診療所勤務医師数	137	134	109	-28	-20%	-3	-2%	-25	-19%	
人口10万対	69.6	75.2	68.2	-1.4	-2%	5.6	8%	-7.0	-9%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	80	84	87	7	9%	4	5%	3	4%
	35-49歳	143	105	98	-45	-31%	-38	-27%	-7	-7%
	50-64歳	121	129	122	1	1%	8	7%	-7	-5%
	65歳以上	79	125	132	53	67%	46	58%	7	6%
	75歳以上(再掲)	28	52	60	32	114%	24	86%	8	15%
男性	24-34歳	61	64	49	-12	-20%	3	5%	-15	-23%
	35-49歳	125	93	90	-35	-28%	-32	-26%	-3	-3%
	50-64歳	116	115	101	-15	-13%	-1	-1%	-14	-12%
	65歳以上	75	119	128	53	71%	44	59%	9	8%
	75歳以上(再掲)	27	48	60	33	122%	21	78%	12	25%
女性	24-34歳	19	19	32	13	68%	0	0%	13	68%
	35-49歳	18	16	14	-4	-22%	-2	-11%	-2	-13%
	50-64歳	5	13	19	14	280%	8	160%	6	46%
	65歳以上	4	1	1	-3	-75%	-3	-75%	0	0%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	79	83	86	7	9%	4	5%	3	4%
	35-49歳	121	90	84	-37	-31%	-31	-26%	-6	-7%
	50-64歳	63	84	83	20	32%	21	33%	-1	-1%
	65歳以上	23	44	58	35	152%	21	91%	14	32%
	75歳以上(再掲)	8	20	26	18	225%	12	150%	6	30%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	22	15	15	-7	-32%	-7	-32%	0	0%
	50-64歳	58	41	30	-28	-48%	-17	-29%	-11	-27%
	65歳以上	56	77	63	7	13%	21	38%	-14	-18%
	75歳以上(再掲)	20	30	33	13	65%	10	50%	3	10%
	85歳以上(再掲)	7	5	8	1	14%	-2	-29%	3	60%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南丹医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は11,947人(-8%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は82人(52%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は176人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は65%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

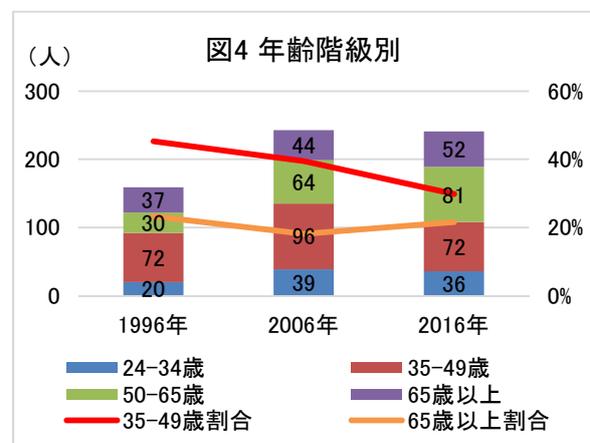
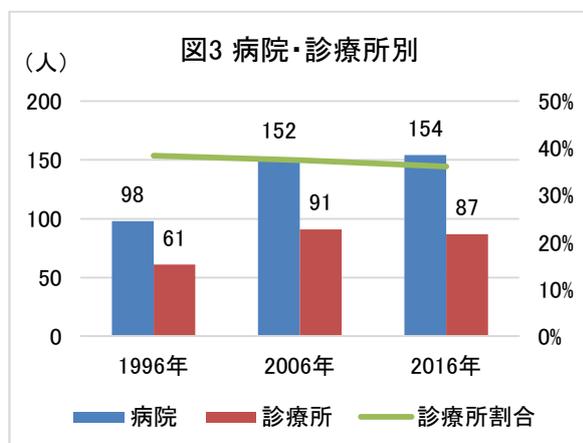
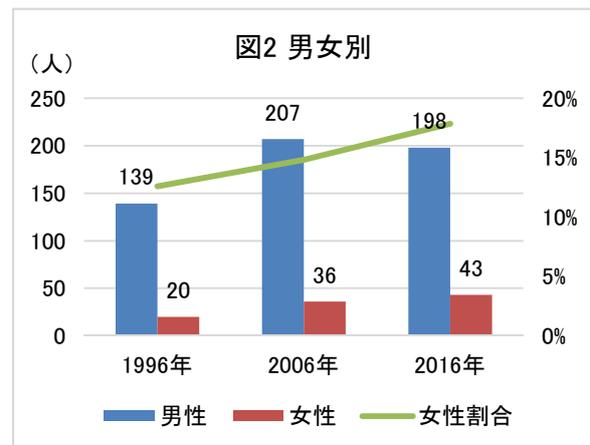
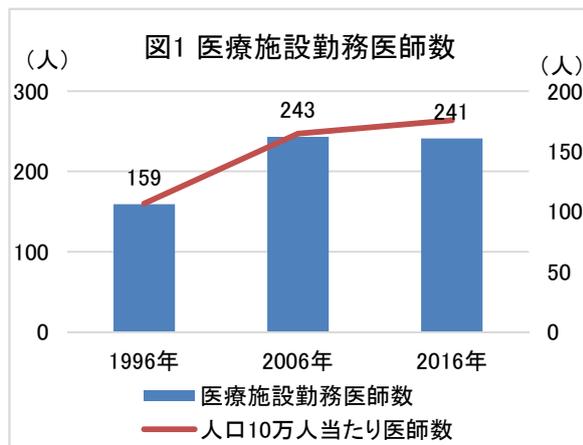
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて59人(42%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に23人(115%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて56人(57%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に26人(43%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は増減がなく、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて15人(41%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年22%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

南丹医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	149,024	147,625	137,077	-11,947	-8%	-1,399	-1%	-10,548	-7%	
総医師数	163	250	257	94	58%	87	53%	7	3%	
人口10万対	109.4	169.3	187.5	78.1	71%	60.0	55%	18.1	11%	
医療施設勤務医師数	159	243	241	82	52%	84	53%	-2	-1%	
人口10万対	106.7	164.6	175.8	69.1	65%	57.9	54%	11.2	7%	
男性医師数	139	207	198	59	42%	68	49%	-9	-4%	
人口10万対	93.3	140.2	144.4	51.2	55%	46.9	50%	4.2	3%	
女性医師数	20	36	43	23	115%	16	80%	7	19%	
人口10万対	13.4	24.4	31.4	17.9	134%	11.0	82%	7.0	29%	
病院勤務医師数	98	152	154	56	57%	54	55%	2	1%	
人口10万対	65.8	103.0	112.3	46.6	71%	37.2	57%	9.4	9%	
診療所勤務医師数	61	91	87	26	43%	30	49%	-4	-4%	
人口10万対	40.9	61.6	63.5	22.5	55%	20.7	51%	1.8	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.9	50.3	52.4	1.5	3%	-0.5	-1%	2.0	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	20	39	36	16	80%	19	95%	-3	-8%
	35-49歳	72	96	72	0	0%	24	33%	-24	-25%
	50-64歳	30	64	81	51	170%	34	113%	17	27%
	65歳以上	37	44	52	15	41%	7	19%	8	18%
	75歳以上(再掲)	9	24	16	7	78%	15	167%	-8	-33%
男性	24-34歳	16	26	22	6	38%	10	63%	-4	-15%
	35-49歳	65	80	57	-8	-12%	15	23%	-23	-29%
	50-64歳	29	60	70	41	141%	31	107%	10	17%
	65歳以上	29	41	49	20	69%	12	41%	8	20%
	75歳以上(再掲)	6	21	16	10	167%	15	250%	-5	-24%
女性	24-34歳	4	13	14	10	250%	9	225%	1	8%
	35-49歳	7	16	15	8	114%	9	129%	-1	-6%
	50-64歳	1	4	11	10	1000%	3	300%	7	175%
	65歳以上	8	3	3	-5	-63%	-5	-63%	0	0%
	75歳以上(再掲)	3	3	0	-3	-100%	0	0%	-3	-100%
病院	24-34歳	20	37	36	16	80%	17	85%	-1	-3%
	35-49歳	50	71	50	0	0%	21	42%	-21	-30%
	50-64歳	19	30	47	28	147%	11	58%	17	57%
	65歳以上	9	14	21	12	133%	5	56%	7	50%
	75歳以上(再掲)	2	5	7	5	250%	3	150%	2	40%
診療所	24-34歳	0	2	0	0		2		-2	-100%
	35-49歳	22	25	22	0	0%	3	14%	-3	-12%
	50-64歳	11	34	34	23	209%	23	209%	0	0%
	65歳以上	28	30	31	3	11%	2	7%	1	3%
	75歳以上(再掲)	7	19	9	2	29%	12	171%	-10	-53%
	85歳以上(再掲)	1	1	4	3	300%	0	0%	3	300%

南丹医療圏

＜医師数の推移＞

南丹医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、小児外科であり、少ない診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科はない。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	159	106.7	41	243	164.6	45	241	175.8	43	82	52%	69.1	65%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	69	46.3	41	92	62.3	44	95	69.3	44	26	38%	23.0	50%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	15	10.1	48	23	15.6	59	20	14.6	52	5	33%	4.5	45%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	2.0	35	5	3.4	36	6	4.4	36	3	100%	2.4	117%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	19	12.7	41	25	16.9	48	20	14.6	44	1	5%	1.8	14%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	2	1.4	64	3	2.2	73	3		2.2	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	2	1.4	46	0	0.0	36	0		0.0	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	1.3	38	8	5.4	52	3	2.2	36	1	50%	0.8	63%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	19	12.7	49	23	15.6	52	23	16.8	50	4	21%	4.0	32%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0		0.0	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	1.3	38	3	2.0	37	6	4.4	42	4	200%	3.0	226%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	3.4	39	10	6.8	43	12	8.8	46	7	140%	5.4	161%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	4.7	43	11	7.5	52	8	5.8	45	1	14%	1.1	24%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	2.0	41	6	4.1	47	8	5.8	51	5	167%	3.8	190%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	10	6.7	43	9	6.1	42	11	8.0	45	1	10%	1.3	20%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	3	2.2	52	3		2.2	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.7	41	3	2.0	44	2	1.5	40	1	100%	0.8	117%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	2.0	44	5	3.4	46	6	4.4	44	3	100%	2.4	117%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				8	5.4	43	11	8.0	44	11	38%	2.6	48%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.7	42	8	5.4	50	4	2.9	42	3	300%	2.2	335%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

南丹医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は22,976人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は13人(-5%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は200人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は14%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

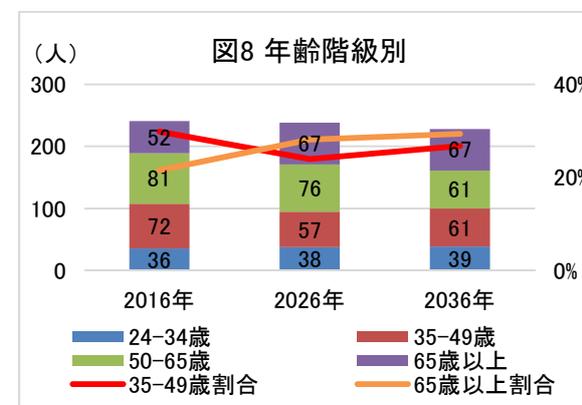
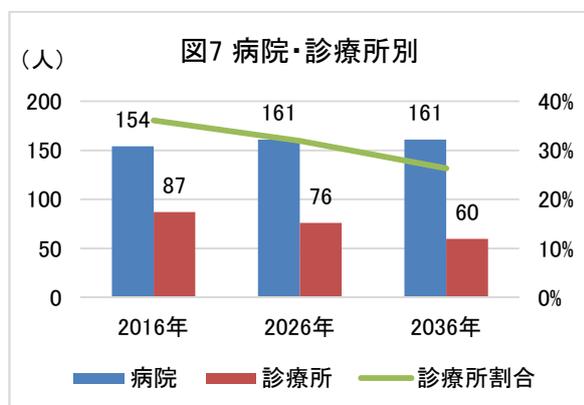
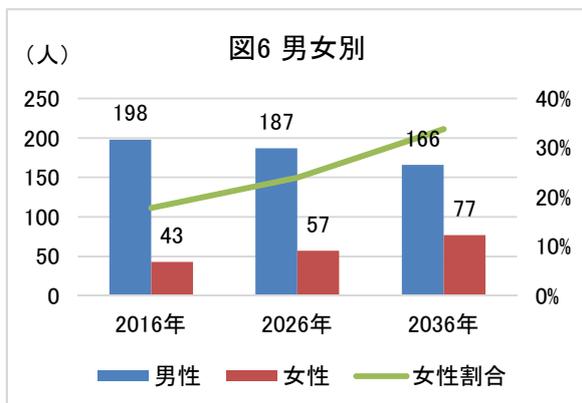
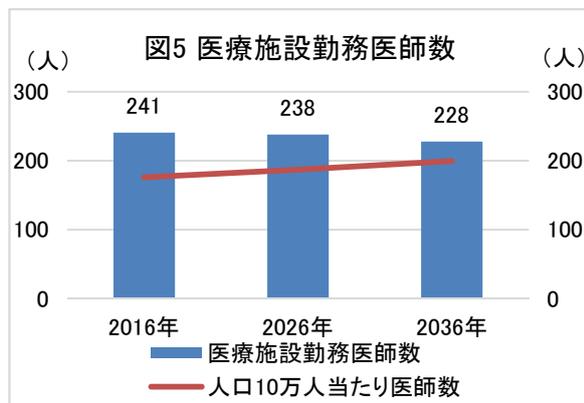
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて32人(-16%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に34人(79%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は34%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて7人(5%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に27人(-31%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は11人(-15%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて15人(29%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



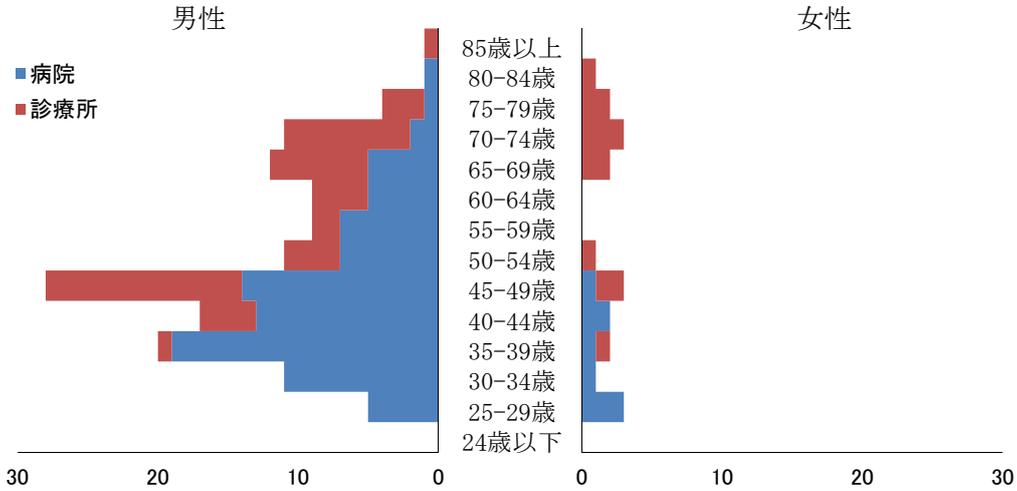
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南丹医療圏

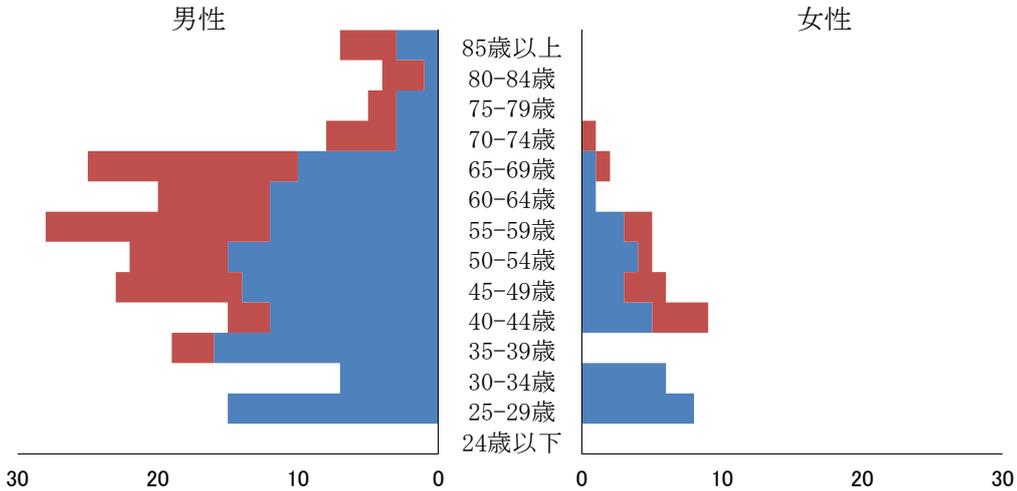
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

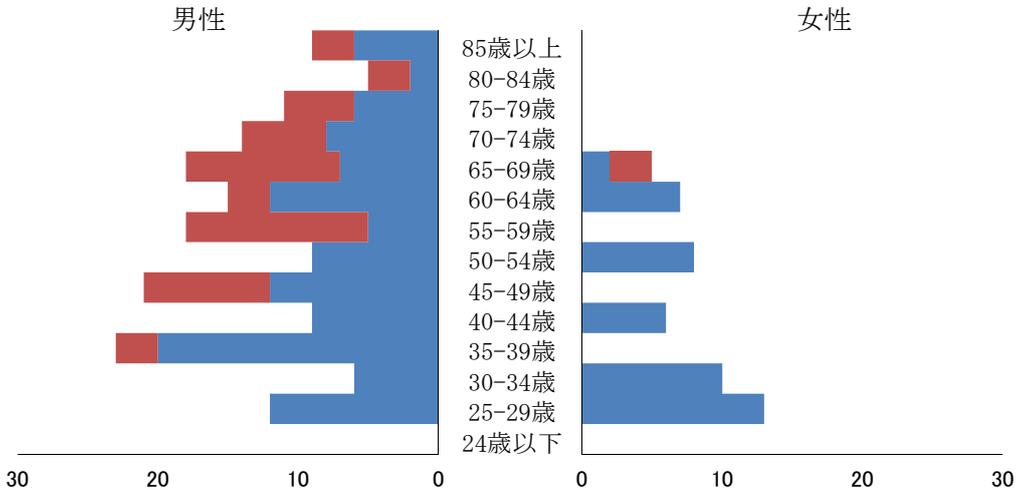
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南丹医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	137,077	127,336	114,101	-22,976	-17%	-9,741	-7%	-13,235	-10%	
医療施設勤務医師数	241	238	228	-13	-5%	-3	-1%	-10	-4%	
人口10万対	175.8	186.9	199.8	24.0	14%	11.1	6%	12.9	7%	
男性医師数	198	187	166	-32	-16%	-11	-6%	-21	-11%	
人口10万対	144.4	146.9	145.5	1.0	1%	2.4	2%	-1.4	-1%	
女性医師数	43	57	77	34	79%	14	33%	20	35%	
人口10万対	31.4	44.8	67.5	36.1	115%	13.4	43%	22.7	51%	
病院勤務医師数	154	161	161	7	5%	7	5%	0	0%	
人口10万対	112.3	126.4	141.1	28.8	26%	14.1	13%	14.7	12%	
診療所勤務医師数	87	76	60	-27	-31%	-11	-13%	-16	-21%	
人口10万対	63.5	59.7	52.6	-10.9	-17%	-3.8	-6%	-7.1	-12%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	36	38	39	3	8%	2	6%	1	3%
	35-49歳	72	57	61	-11	-15%	-15	-21%	4	7%
	50-64歳	81	76	61	-20	-25%	-5	-6%	-15	-20%
	65歳以上	52	67	67	15	29%	15	29%	0	0%
	75歳以上(再掲)	16	21	27	11	69%	5	31%	6	29%
男性	24-34歳	22	23	18	-4	-18%	1	5%	-5	-22%
	35-49歳	57	49	54	-3	-5%	-8	-14%	5	10%
	50-64歳	70	55	39	-31	-44%	-15	-21%	-16	-29%
	65歳以上	49	60	55	6	12%	11	22%	-5	-8%
	75歳以上(再掲)	16	20	24	8	50%	4	25%	4	20%
女性	24-34歳	14	15	23	9	64%	1	7%	8	53%
	35-49歳	15	11	11	-4	-27%	-4	-27%	0	0%
	50-64歳	11	25	33	22	200%	14	127%	8	32%
	65歳以上	3	6	10	7	233%	3	100%	4	67%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	36	38	39	3	8%	2	6%	1	3%
	35-49歳	50	43	45	-5	-10%	-7	-14%	2	5%
	50-64歳	47	46	40	-7	-15%	-1	-2%	-6	-13%
	65歳以上	21	34	37	16	76%	13	62%	3	9%
	75歳以上(再掲)	7	11	17	10	143%	4	57%	6	55%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	22	10	10	-12	-55%	-12	-55%	0	0%
	50-64歳	34	33	18	-16	-47%	-1	-3%	-15	-45%
	65歳以上	31	33	32	1	3%	2	6%	-1	-3%
	75歳以上(再掲)	9	11	11	2	22%	2	22%	0	0%
	85歳以上(再掲)	4	2	2	-2	-50%	-2	-50%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

京都・乙訓医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は5,066人(0%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1,397人(28%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は395人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

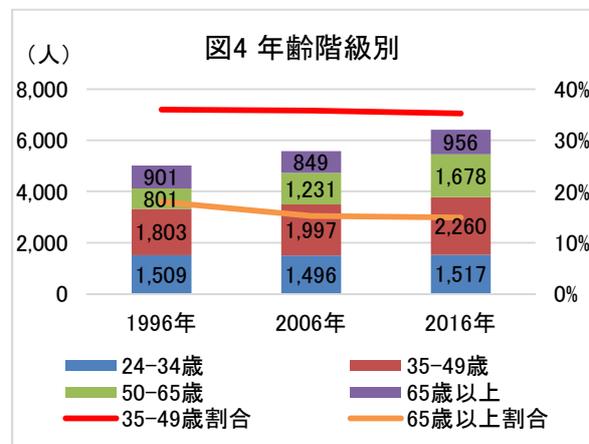
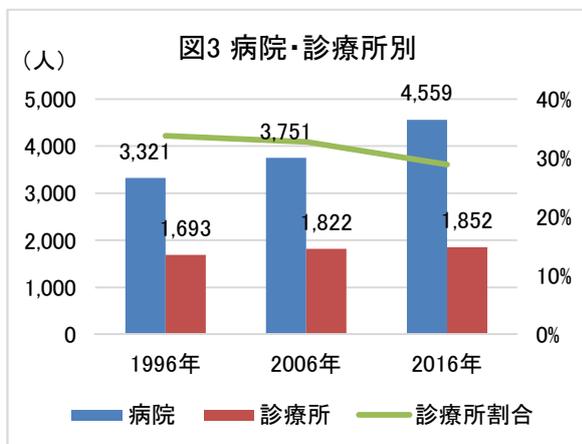
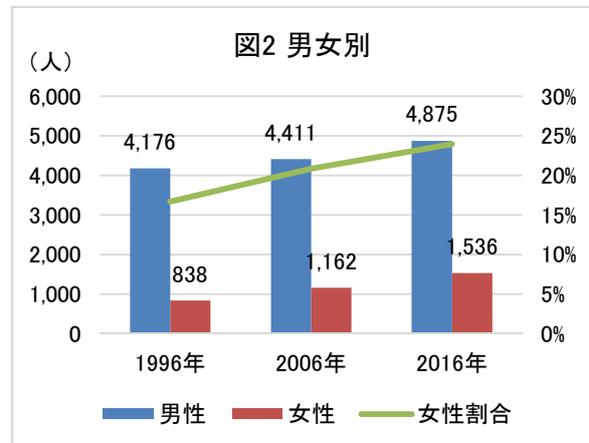
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて699人(17%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に698人(83%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は24%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1,238人(37%)増え、全国平均(37%)と同程度の増加率である。診療所医師は、同期間に159人(9%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は29%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は457人(25%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて55人(6%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年15%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

京都・乙訓医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,618,768	1,623,378	1,623,834	5,066	0%	4,610	0%	456	0%	
総医師数	5,312	6,034	6,866	1,554	29%	722	14%	832	14%	
人口10万対	328.2	371.7	422.8	94.7	29%	43.5	13%	51.1	14%	
医療施設勤務医師数	5,014	5,573	6,411	1,397	28%	559	11%	838	15%	
人口10万対	309.7	343.3	394.8	85.1	27%	33.6	11%	51.5	15%	
男性医師数	4,176	4,411	4,875	699	17%	235	6%	464	11%	
人口10万対	258.0	271.7	300.2	42.2	16%	13.7	5%	28.5	10%	
女性医師数	838	1,162	1,536	698	83%	324	39%	374	32%	
人口10万対	51.8	71.6	94.6	42.8	83%	19.8	38%	23.0	32%	
病院勤務医師数	3,321	3,751	4,559	1,238	37%	430	13%	808	22%	
人口10万対	205.2	231.1	280.8	75.6	37%	25.9	13%	49.7	22%	
診療所勤務医師数	1,693	1,822	1,852	159	9%	129	8%	30	2%	
人口10万対	104.6	112.2	114.1	9.5	9%	7.6	7%	1.8	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.3	47.1	47.9	1.6	3%	0.8	2%	0.8	2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,509	1,496	1,517	8	1%	-13	-1%	21	1%
	35-49歳	1,803	1,997	2,260	457	25%	194	11%	263	13%
	50-64歳	801	1,231	1,678	877	109%	430	54%	447	36%
	65歳以上	901	849	956	55	6%	-52	-6%	107	13%
	75歳以上(再掲)	199	407	356	157	79%	208	105%	-51	-13%
男性	24-34歳	1,162	1,010	1,036	-126	-11%	-152	-13%	26	3%
	35-49歳	1,558	1,626	1,641	83	5%	68	4%	15	1%
	50-64歳	701	1,057	1,356	655	93%	356	51%	299	28%
	65歳以上	755	718	842	87	12%	-37	-5%	124	17%
	75歳以上(再掲)	177	331	308	131	74%	154	87%	-23	-7%
女性	24-34歳	347	486	481	134	39%	139	40%	-5	-1%
	35-49歳	245	371	619	374	153%	126	51%	248	67%
	50-64歳	100	174	322	222	222%	74	74%	148	85%
	65歳以上	146	131	114	-32	-22%	-15	-10%	-17	-13%
	75歳以上(再掲)	22	76	48	26	118%	54	245%	-28	-37%
病院	24-34歳	1,471	1,469	1,503	32	2%	-2	0%	34	2%
	35-49歳	1,386	1,546	1,884	498	36%	160	12%	338	22%
	50-64歳	325	571	912	587	181%	246	76%	341	60%
	65歳以上	139	165	260	121	87%	26	19%	95	58%
	75歳以上(再掲)	25	65	64	39	156%	40	160%	-1	-2%
診療所	24-34歳	38	27	14	-24	-63%	-11	-29%	-13	-48%
	35-49歳	417	451	376	-41	-10%	34	8%	-75	-17%
	50-64歳	476	660	766	290	61%	184	39%	106	16%
	65歳以上	762	684	696	-66	-9%	-78	-10%	12	2%
	75歳以上(再掲)	174	342	292	118	68%	168	97%	-50	-15%
	85歳以上(再掲)	26	26	76	50	192%	0	0%	50	192%

京都・乙訓医療圏

<医師数の推移>

京都・乙訓医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	5,014	309.7	66	5,573	343.3	67	6,411	394.8	67	1,397	28%	85.1	27%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	2,164	133.7	67	2,162	133.2	69	2,477	152.5	70	313	14%	18.9	14%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	295	18.2	66	277	17.1	62	305	18.8	60	10	3%	0.6	3%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	161	9.9	55	214	13.2	58	261	16.1	57	100	62%	6.1	62%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	569	35.2	66	464	28.6	65	585	36.0	73	16	3%	0.9	2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	16	1.0	59	17	1.0	59	30	1.8	68	14	88%	0.9	87%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	50	3.1	60	66	4.1	62	67	4.1	59	17	34%	1.0	34%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	112	6.9	60	107	6.6	57	126	7.8	58	14	13%	0.8	12%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	309	19.1	62	374	23.0	67	374	23.0	62	65	21%	3.9	21%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	39	2.4	62	48	3.0	61	59	3.6	60	20	51%	1.2	51%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	149	9.2	61	157	9.7	61	191	11.8	63	42	28%	2.6	28%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	256	15.8	65	251	15.5	64	244	15.0	61	-12	-5%	-0.8	-5%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	174	10.7	61	181	11.1	63	215	13.2	69	41	24%	2.5	23%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	123	7.6	65	127	7.8	63	144	8.9	63	21	17%	1.3	17%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	251	15.5	63	227	14.0	62	234	14.4	59	-17	-7%	-1.1	-7%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	9	0.6	48	13	0.8	45	35	2.2	51	26	289%	1.6	288%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	118	7.3	63	128	7.9	64	203	12.5	70	85	72%	5.2	71%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	108	6.7	58	129	7.9	59	188	11.6	60	80	74%	4.9	74%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				29	1.8	53	68	4.2	58	39	134%	2.4	134%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				399	24.6	66	372	22.9	61	372	-7%	-1.7	-7%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	111	6.9	55	203	12.5	64	233	14.3	62	122	110%	7.5	109%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

京都・乙訓医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は155,931人(-10%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1,435人(22%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は535人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は35%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

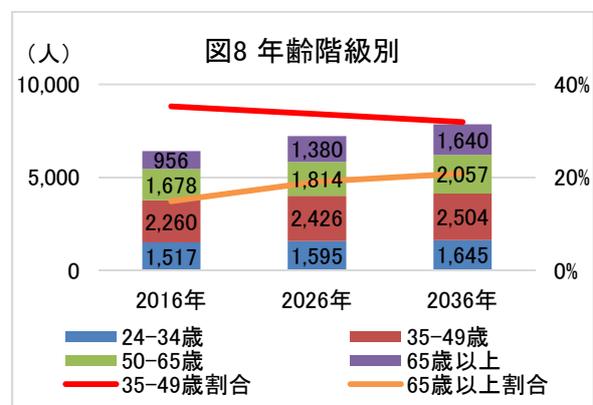
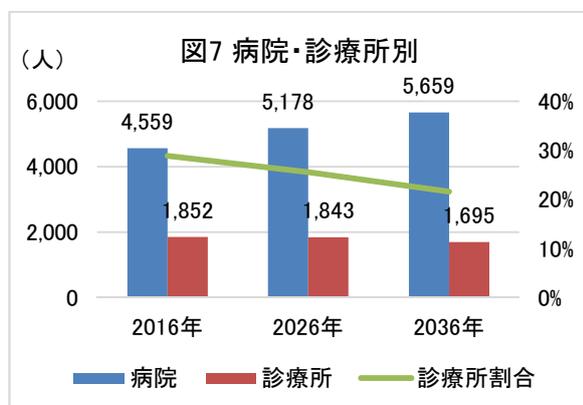
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて518人(11%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に980人(64%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は32%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1,100人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に157人(-8%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は22%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は244人(11%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて684人(72%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年15%、2036年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



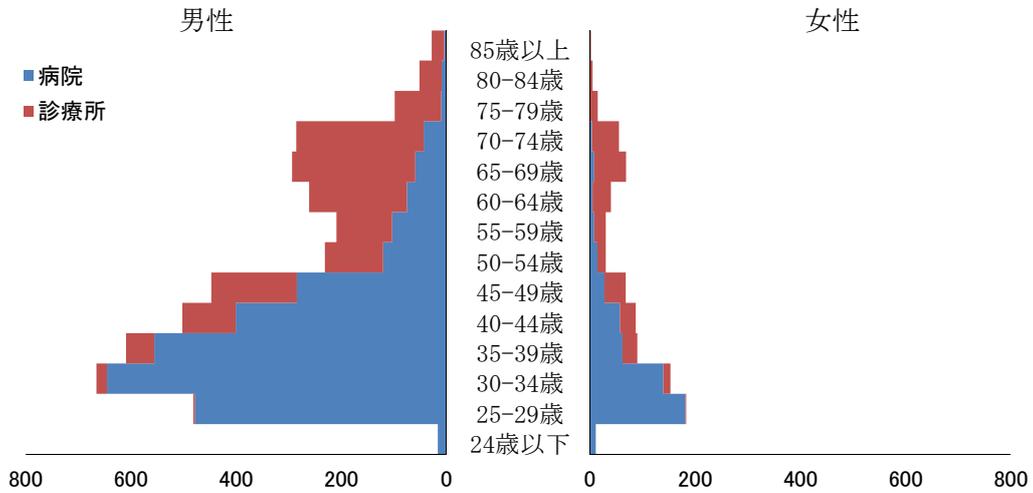
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

京都・乙訓医療圏

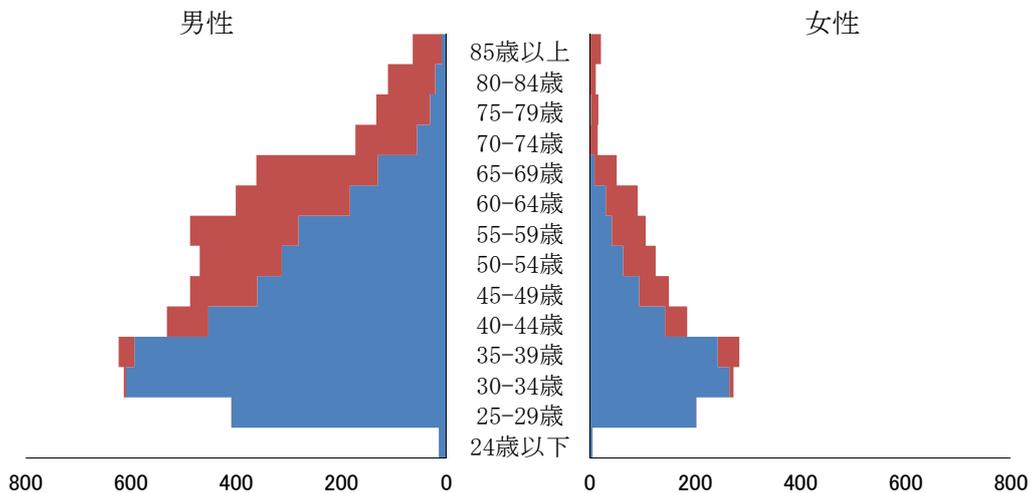
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

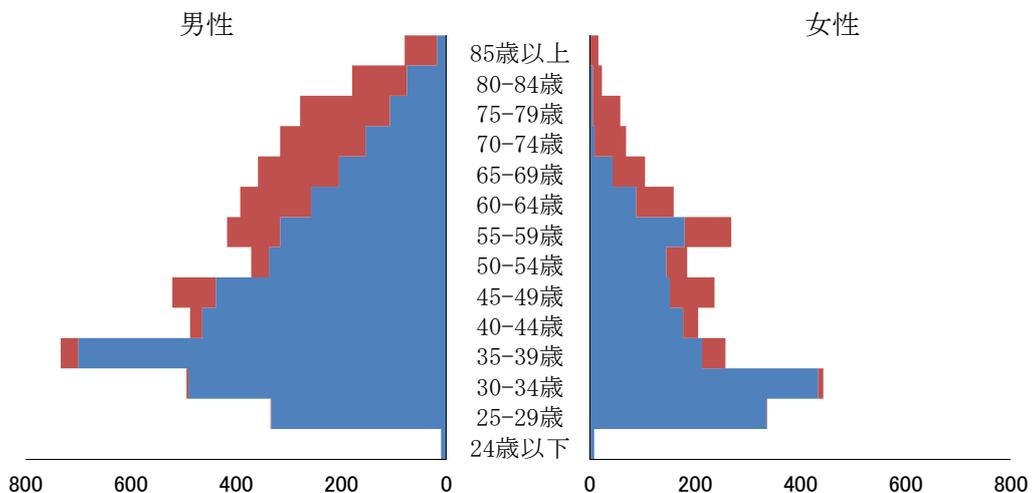
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

京都・乙訓医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,623,834	1,564,641	1,467,903	-155,931	-10%	-59,193	-4%	-96,738	-6%	
医療施設勤務医師数	6,411	7,215	7,846	1,435	22%	804	13%	631	9%	
人口10万対	394.8	461.1	534.5	139.7	35%	66.3	17%	73.4	16%	
男性医師数	4,875	5,341	5,393	518	11%	466	10%	52	1%	
人口10万対	300.2	341.4	367.4	67.2	22%	41.1	14%	26.0	8%	
女性医師数	1,536	1,917	2,516	980	64%	381	25%	599	31%	
人口10万対	94.6	122.5	171.4	76.8	81%	27.9	30%	48.9	40%	
病院勤務医師数	4,559	5,178	5,659	1,100	24%	619	14%	481	9%	
人口10万対	280.8	330.9	385.5	104.8	37%	50.2	18%	54.6	16%	
診療所勤務医師数	1,852	1,843	1,695	-157	-8%	-9	0%	-148	-8%	
人口10万対	114.1	117.8	115.5	1.4	1%	3.7	3%	-2.3	-2%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,517	1,595	1,645	128	8%	78	5%	50	3%
	35-49歳	2,260	2,426	2,504	244	11%	166	7%	78	3%
	50-64歳	1,678	1,814	2,057	379	23%	136	8%	243	13%
	65歳以上	956	1,380	1,640	684	72%	424	44%	260	19%
	75歳以上(再掲)	356	469	676	320	90%	113	32%	207	44%
男性	24-34歳	1,036	1,089	840	-196	-19%	53	5%	-249	-23%
	35-49歳	1,641	1,726	1,845	204	12%	85	5%	119	7%
	50-64歳	1,356	1,357	1,396	40	3%	1	0%	39	3%
	65歳以上	842	1,169	1,312	470	56%	327	39%	143	12%
	75歳以上(再掲)	308	418	569	261	85%	110	36%	151	36%
女性	24-34歳	481	506	786	305	63%	25	5%	280	55%
	35-49歳	619	736	706	87	14%	117	19%	-30	-4%
	50-64歳	322	469	714	392	122%	147	46%	245	52%
	65歳以上	114	206	310	196	172%	92	81%	104	50%
	75歳以上(再掲)	48	52	96	48	100%	4	8%	44	85%
病院	24-34歳	1,503	1,580	1,630	127	8%	77	5%	50	3%
	35-49歳	1,884	2,024	2,097	213	11%	140	7%	73	4%
	50-64歳	912	1,099	1,287	375	41%	187	21%	188	17%
	65歳以上	260	475	645	385	148%	215	83%	170	36%
	75歳以上(再掲)	64	116	214	150	234%	52	81%	98	84%
診療所	24-34歳	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	35-49歳	376	306	313	-63	-17%	-70	-19%	7	2%
	50-64歳	766	643	497	-269	-35%	-123	-16%	-146	-23%
	65歳以上	696	880	870	174	25%	184	26%	-10	-1%
	75歳以上(再掲)	292	356	429	137	47%	64	22%	73	21%
	85歳以上(再掲)	76	65	79	3	4%	-11	-14%	14	22%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山城北医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は2,340人(1%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は256人(47%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は183人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は46%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

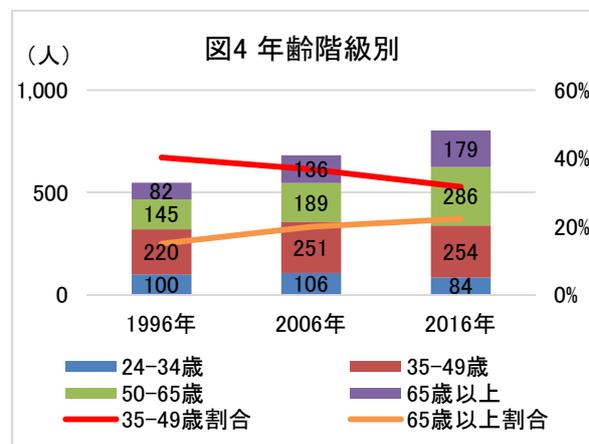
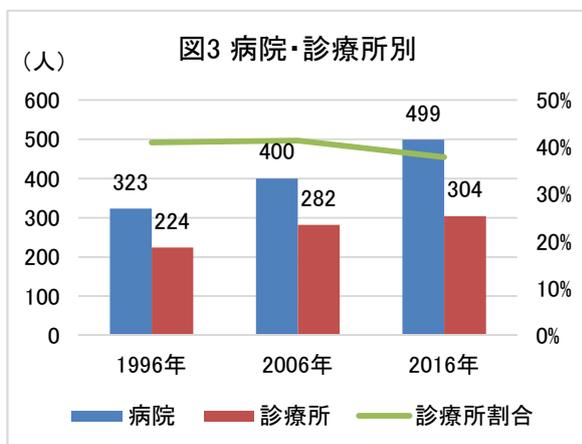
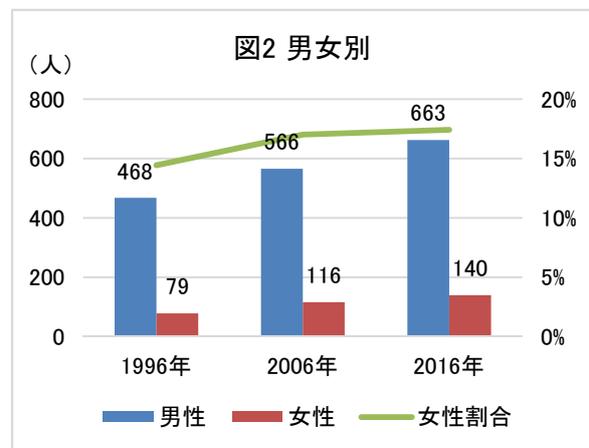
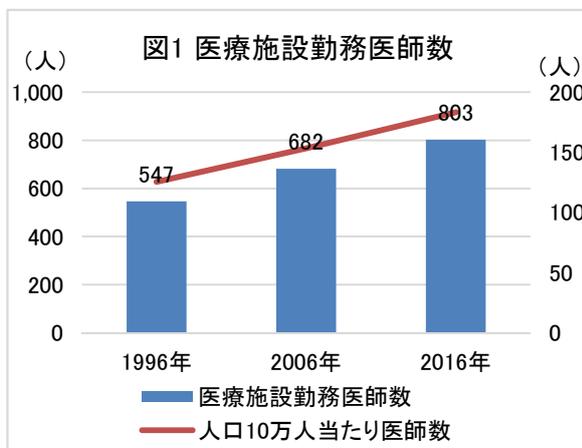
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて195人(42%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に61人(77%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて176人(54%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に80人(36%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は34人(15%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて97人(118%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年15%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

山城北医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	435,740	445,108	438,080	2,340	1%	9,368	2%	-7,028	-2%	
総医師数	557	702	829	272	49%	145	26%	127	18%	
人口10万対	127.8	157.7	189.2	61.4	48%	29.9	23%	31.5	20%	
医療施設勤務医師数	547	682	803	256	47%	135	25%	121	18%	
人口10万対	125.5	153.2	183.3	57.8	46%	27.7	22%	30.1	20%	
男性医師数	468	566	663	195	42%	98	21%	97	17%	
人口10万対	107.4	127.2	151.3	43.9	41%	19.8	18%	24.2	19%	
女性医師数	79	116	140	61	77%	37	47%	24	21%	
人口10万対	18.1	26.1	32.0	13.8	76%	7.9	44%	5.9	23%	
病院勤務医師数	323	400	499	176	54%	77	24%	99	25%	
人口10万対	74.1	89.9	113.9	39.8	54%	15.7	21%	24.0	27%	
診療所勤務医師数	224	282	304	80	36%	58	26%	22	8%	
人口10万対	51.4	63.4	69.4	18.0	35%	11.9	23%	6.0	10%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.5	50.5	53.4	4.8	10%	1.9	4%	2.9	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	100	106	84	-16	-16%	6	6%	-22	-21%
	35-49歳	220	251	254	34	15%	31	14%	3	1%
	50-64歳	145	189	286	141	97%	44	30%	97	51%
	65歳以上	82	136	179	97	118%	54	66%	43	32%
	75歳以上(再掲)	11	44	62	51	464%	33	300%	18	41%
男性	24-34歳	73	74	58	-15	-21%	1	1%	-16	-22%
	35-49歳	190	204	194	4	2%	14	7%	-10	-5%
	50-64歳	137	166	247	110	80%	29	21%	81	49%
	65歳以上	68	122	164	96	141%	54	79%	42	34%
	75歳以上(再掲)	5	39	58	53	1060%	34	680%	19	49%
女性	24-34歳	27	32	26	-1	-4%	5	19%	-6	-19%
	35-49歳	30	47	60	30	100%	17	57%	13	28%
	50-64歳	8	23	39	31	388%	15	188%	16	70%
	65歳以上	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%
	75歳以上(再掲)	6	5	4	-2	-33%	-1	-17%	-1	-20%
病院	24-34歳	96	94	81	-15	-16%	-2	-2%	-13	-14%
	35-49歳	159	182	182	23	14%	23	14%	0	0%
	50-64歳	52	96	170	118	227%	44	85%	74	77%
	65歳以上	16	28	66	50	313%	12	75%	38	136%
	75歳以上(再掲)	4	8	15	11	275%	4	100%	7	88%
診療所	24-34歳	4	12	3	-1	-25%	8	200%	-9	-75%
	35-49歳	61	69	72	11	18%	8	13%	3	4%
	50-64歳	93	93	116	23	25%	0	0%	23	25%
	65歳以上	66	108	113	47	71%	42	64%	5	5%
	75歳以上(再掲)	7	36	47	40	571%	29	414%	11	31%
	85歳以上(再掲)	2	0	10	8	400%	-2	-100%	10	

山城北医療圏

＜医師数の推移＞

山城北医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、リハビリテーション科、救急科であり、少ない診療科は、内科(総数)、心臓血管外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	547	125.5	43	682	153.2	43	803	183.3	44	256	47%	57.8	46%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	213	48.9	42	269	60.4	44	283	64.6	42	70	33%	15.7	32%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	46	10.6	49	51	11.5	50	59	13.5	50	13	28%	2.9	28%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	38	8.7	52	44	9.9	50	54	12.3	50	16	42%	3.6	41%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	74	17.0	46	66	14.8	45	71	16.2	46	-3	-4%	-0.8	-5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.2	47	1	0.2	45	2	0.5	47	1	100%	0.2	99%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	4	0.9	45	6	1.3	46	6	1.4	44	2	50%	0.5	49%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	14	3.2	45	10	2.2	39	24	5.5	49	10	71%	2.3	71%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	41	9.4	43	56	12.6	45	67	15.3	47	26	63%	5.9	63%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	6	1.4	46	6		1.4	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	1.6	39	17	3.8	43	24	5.5	45	17	243%	3.9	241%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	20	4.6	41	24	5.4	40	32	7.3	43	12	60%	2.7	59%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	24	5.5	46	26	5.8	46	22	5.0	43	-2	-8%	-0.5	-9%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	9	2.1	41	12	2.7	41	15	3.4	42	6	67%	1.4	66%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	31	7.1	44	26	5.8	41	20	4.6	37	-11	-35%	-2.5	-36%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.5	46	4	0.9	45	15	3.4	59	13	650%	3.0	646%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	8	1.8	45	12	2.7	46	15	3.4	45	7	88%	1.6	86%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	9	2.1	44	12	2.7	44	23	5.3	46	14	156%	3.2	154%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	17	3.9	56	17		3.9	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				27	6.1	44	23	5.3	42	23	-15%	-0.8	-13%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	6	1.4	43	19	4.3	48	25	5.7	47	19	317%	4.3	314%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

山城北医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は48,537人(-11%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は122人(15%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は237人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

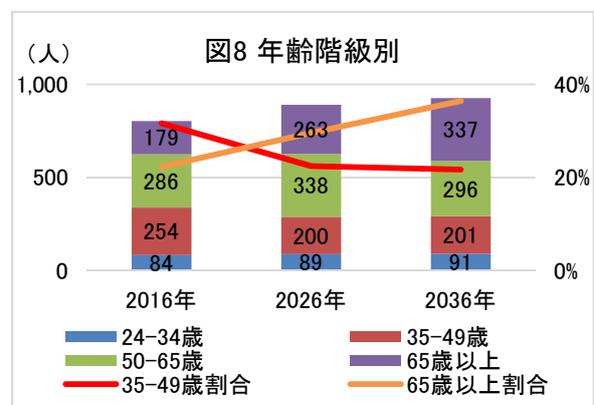
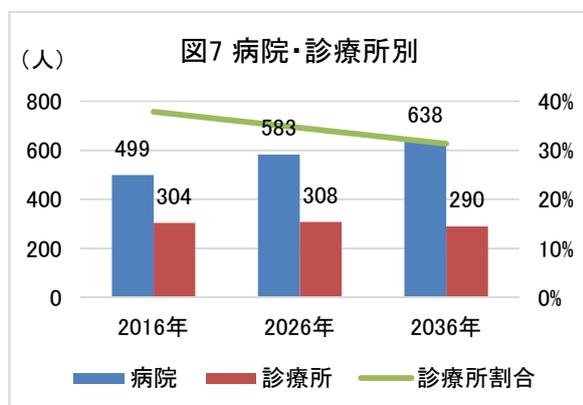
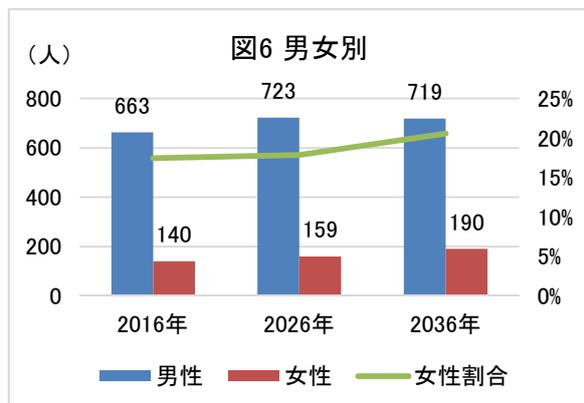
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて56人(8%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に50人(36%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は21%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて139人(28%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に14人(-5%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は31%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は53人(-21%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて158人(88%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年36%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



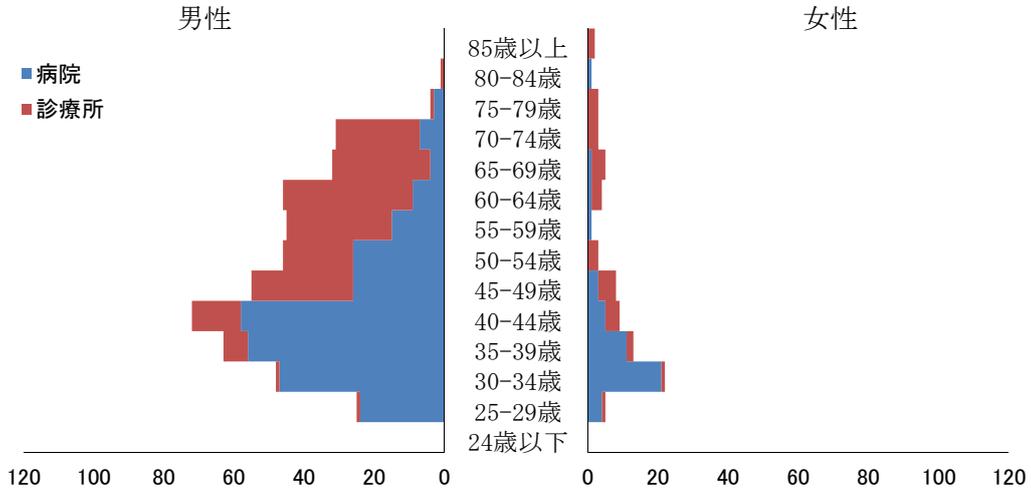
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山城北医療圏

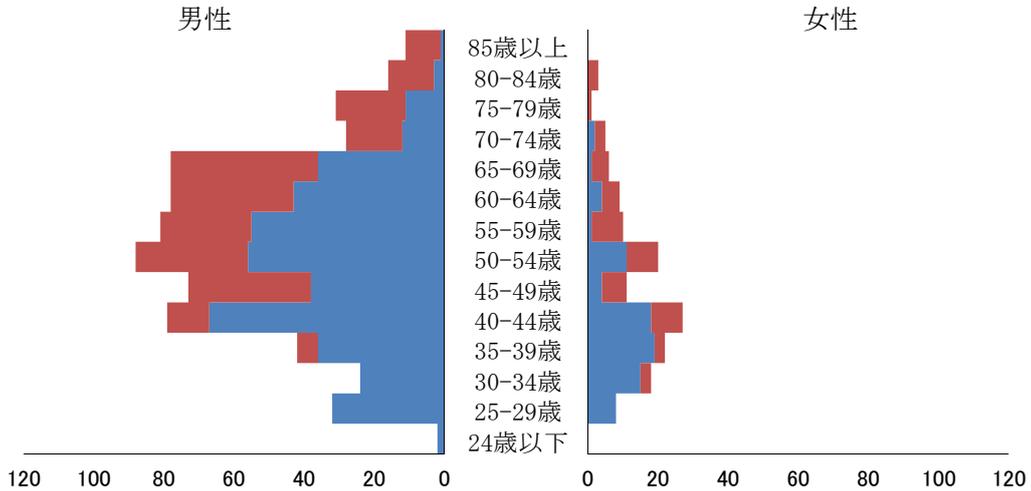
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

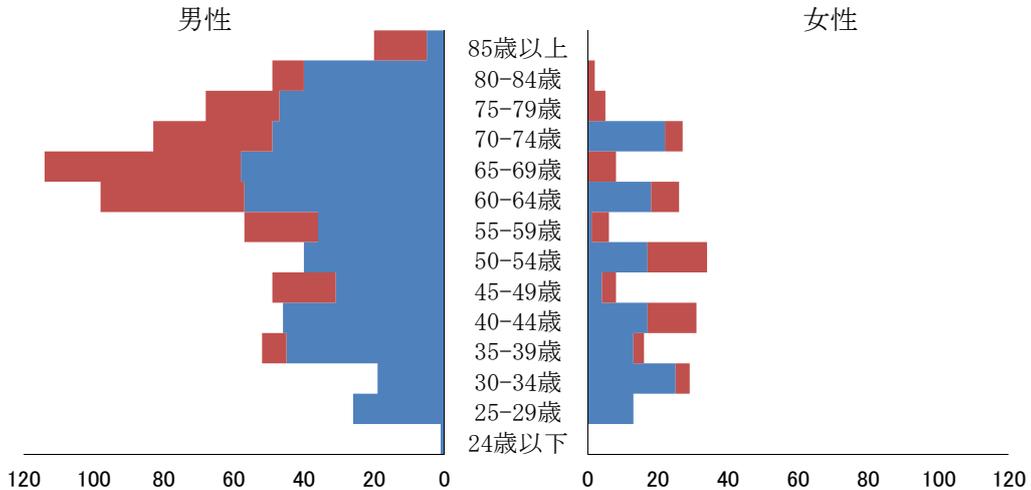
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山城北医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	438,080	422,830	389,543	-48,537	-11%	-15,250	-3%	-33,287	-8%	
医療施設勤務医師数	803	890	925	122	15%	87	11%	35	4%	
人口10万対	183.3	210.5	237.5	54.2	30%	27.2	15%	27.0	13%	
男性医師数	663	723	719	56	8%	60	9%	-4	-1%	
人口10万対	151.3	171.0	184.6	33.2	22%	19.6	13%	13.6	8%	
女性医師数	140	159	190	50	36%	19	14%	31	19%	
人口10万対	32.0	37.6	48.8	16.8	53%	5.6	18%	11.2	30%	
病院勤務医師数	499	583	638	139	28%	84	17%	55	9%	
人口10万対	113.9	137.9	163.8	49.9	44%	24.0	21%	25.9	19%	
診療所勤務医師数	304	308	290	-14	-5%	4	1%	-18	-6%	
人口10万対	69.4	72.8	74.4	5.1	7%	3.4	5%	1.6	2%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	84	89	91	7	8%	5	6%	2	2%
	35-49歳	254	200	201	-53	-21%	-54	-21%	1	0%
	50-64歳	286	338	296	10	3%	52	18%	-42	-12%
	65歳以上	179	263	337	158	88%	84	47%	74	28%
	75歳以上(再掲)	62	84	121	59	95%	22	35%	37	44%
男性	24-34歳	58	62	46	-12	-21%	4	7%	-16	-26%
	35-49歳	194	138	147	-47	-24%	-56	-29%	9	7%
	50-64歳	247	283	217	-30	-12%	36	15%	-66	-23%
	65歳以上	164	240	309	145	88%	76	46%	69	29%
	75歳以上(再掲)	58	79	115	57	98%	21	36%	36	46%
女性	24-34歳	26	27	42	16	62%	1	4%	15	56%
	35-49歳	60	55	51	-9	-15%	-5	-8%	-4	-7%
	50-64歳	39	54	67	28	72%	15	38%	13	24%
	65歳以上	15	23	30	15	100%	8	53%	7	30%
	75歳以上(再掲)	4	5	7	3	75%	1	25%	2	40%
病院	24-34歳	81	86	88	7	9%	5	6%	2	2%
	35-49歳	182	156	160	-22	-12%	-26	-14%	4	3%
	50-64歳	170	191	177	7	4%	21	12%	-14	-7%
	65歳以上	66	150	213	147	223%	84	127%	63	42%
	75歳以上(再掲)	15	40	93	78	520%	25	167%	53	133%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	72	38	39	-33	-46%	-34	-47%	1	3%
	50-64歳	116	145	93	-23	-20%	29	25%	-52	-36%
	65歳以上	113	122	155	42	37%	9	8%	33	27%
	75歳以上(再掲)	47	49	53	6	13%	2	4%	4	8%
	85歳以上(再掲)	10	13	14	4	40%	3	30%	1	8%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山城南医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は29,897人(34%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は79人(101%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は134人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は50%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

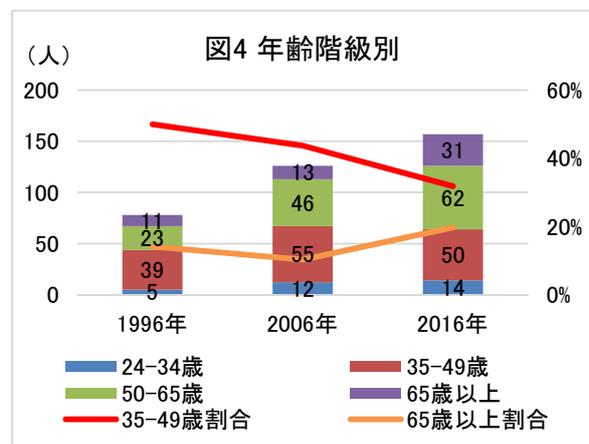
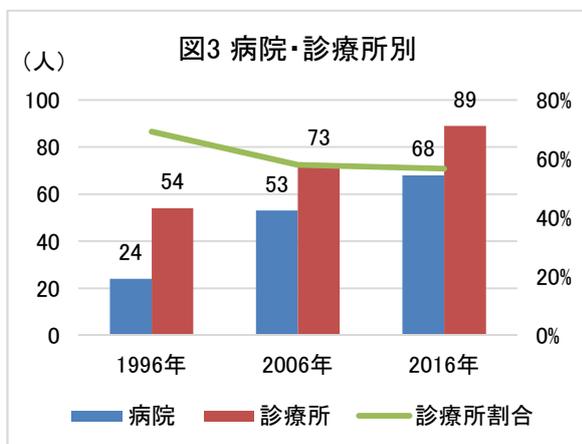
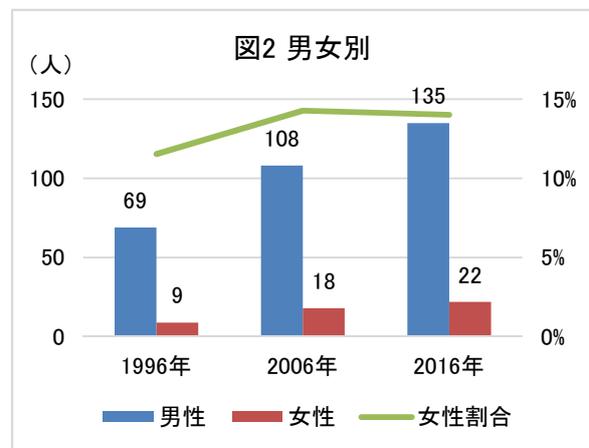
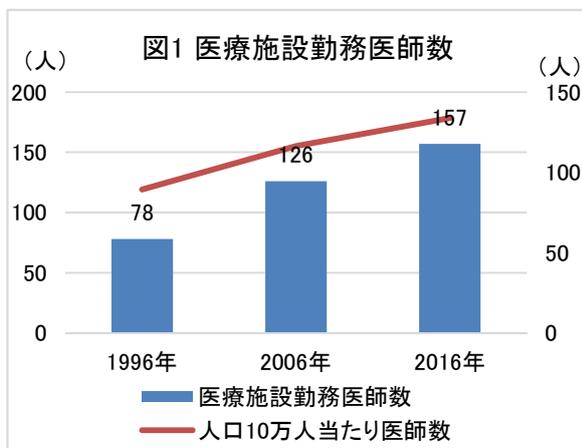
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて66人(96%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に13人(144%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて44人(183%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に35人(65%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は57%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は11人(28%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて20人(182%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年20%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

山城南医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	87,295	108,225	117,192	29,897	34%	20,930	24%	8,967	8%	
総医師数	80	128	164	84	105%	48	60%	36	28%	
人口10万対	91.6	118.3	139.9	48.3	53%	26.6	29%	21.7	18%	
医療施設勤務医師数	78	126	157	79	101%	48	62%	31	25%	
人口10万対	89.4	116.4	134.0	44.6	50%	27.1	30%	17.5	15%	
男性医師数	69	108	135	66	96%	39	57%	27	25%	
人口10万対	79.0	99.8	115.2	36.2	46%	20.7	26%	15.4	15%	
女性医師数	9	18	22	13	144%	9	100%	4	22%	
人口10万対	10.3	16.6	18.8	8.5	82%	6.3	61%	2.1	13%	
病院勤務医師数	24	53	68	44	183%	29	121%	15	28%	
人口10万対	27.5	49.0	58.0	30.5	111%	21.5	78%	9.1	18%	
診療所勤務医師数	54	73	89	35	65%	19	35%	16	22%	
人口10万対	61.9	67.5	75.9	14.1	23%	5.6	9%	8.5	13%	
医療施設勤務医 平均年齢	50.5	49.8	53.0	2.4	5%	-0.8	-2%	3.2	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	5	12	14	9	180%	7	140%	2	17%
	35-49歳	39	55	50	11	28%	16	41%	-5	-9%
	50-64歳	23	46	62	39	170%	23	100%	16	35%
	65歳以上	11	13	31	20	182%	2	18%	18	138%
	75歳以上(再掲)	4	4	8	4	100%	0	0%	4	100%
男性	24-34歳	4	6	10	6	150%	2	50%	4	67%
	35-49歳	33	49	45	12	36%	16	48%	-4	-8%
	50-64歳	22	42	54	32	145%	20	91%	12	29%
	65歳以上	10	11	26	16	160%	1	10%	15	136%
	75歳以上(再掲)	4	3	7	3	75%	-1	-25%	4	133%
女性	24-34歳	1	6	4	3	300%	5	500%	-2	-33%
	35-49歳	6	6	5	-1	-17%	0	0%	-1	-17%
	50-64歳	1	4	8	7	700%	3	300%	4	100%
	65歳以上	1	2	5	4	400%	1	100%	3	150%
	75歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%
病院	24-34歳	5	10	14	9	180%	5	100%	4	40%
	35-49歳	15	31	30	15	100%	16	107%	-1	-3%
	50-64歳	4	10	19	15	375%	6	150%	9	90%
	65歳以上	0	2	5	5		2		3	150%
	75歳以上(再掲)	0	1	1	1		1		0	0%
診療所	24-34歳	0	2	0	0		2		-2	-100%
	35-49歳	24	24	20	-4	-17%	0	0%	-4	-17%
	50-64歳	19	36	43	24	126%	17	89%	7	19%
	65歳以上	11	11	26	15	136%	0	0%	15	136%
	75歳以上(再掲)	4	3	7	3	75%	-1	-25%	4	133%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

山城南医療圏

＜医師数の推移＞

山城南医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科はない。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、精神科、外科(総数)、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	78	89.4	38	126	116.4	39	157	134.0	38	79	101%	44.6	50%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	41	47.0	42	55	50.8	40	61	52.1	38	20	49%	5.1	11%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	8.0	43	12	11.1	49	16	13.7	51	9	129%	5.6	70%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	2.3	36	1	0.9	31	5	4.3	35	3	150%	2.0	86%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	6	6.9	35	11	10.2	38	11	9.4	37	5	83%	2.5	37%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	1	0.9	53	1		0.9	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0		0.0	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	2	1.8	37	2	1.7	34	2		1.7	
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	6	6.9	37	12	11.1	42	15	12.8	42	9	150%	5.9	86%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0		0.0	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	0	0.0	31	4	3.4	40	4		3.4	
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	5.7	44	8	7.4	44	8	6.8	41	3	60%	1.1	19%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	4.6	43	6	5.5	46	7	6.0	46	3	75%	1.4	30%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	1.1	37	5	4.6	49	4	3.4	42	3	300%	2.3	198%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	4	4.6	38	6	5.5	41	8	6.8	42	4	100%	2.2	49%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0		0.0	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	3	2.8	46	4	3.4	45	4		3.4	
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	1.1	41	3	2.8	44	3	2.6	40	2	200%	1.4	123%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				2	1.8	39	6	5.1	41	6	200%	3.3	177%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.1	43	0	0.0	40	2	1.7	40	1	100%	0.6	49%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

山城南医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は4,484人(4%)増加すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は106人(68%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は216人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は61%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

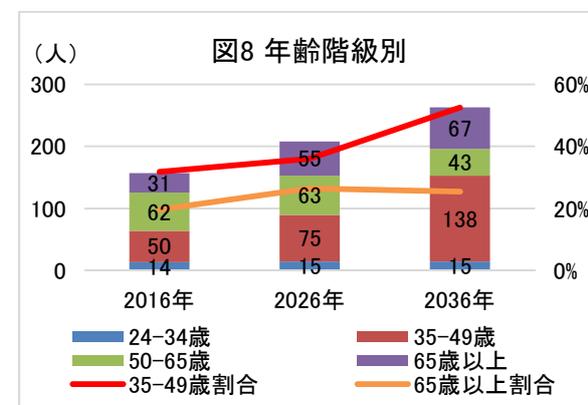
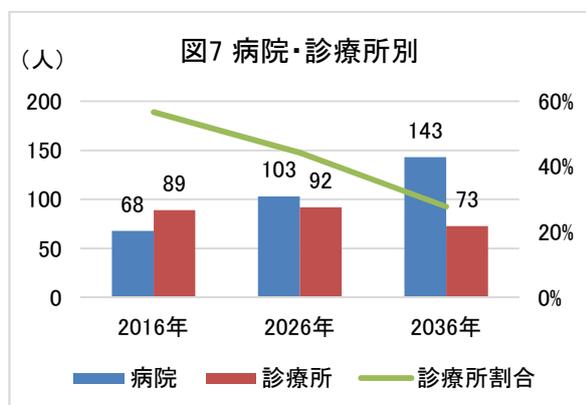
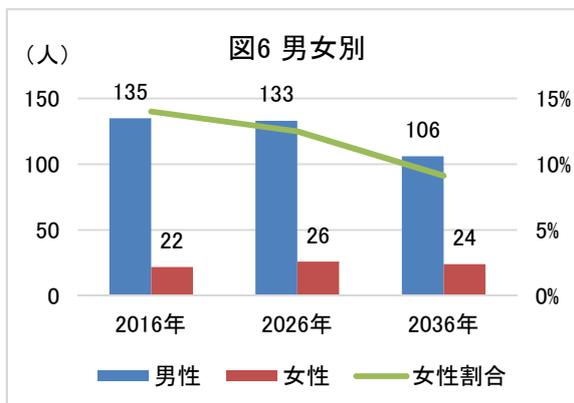
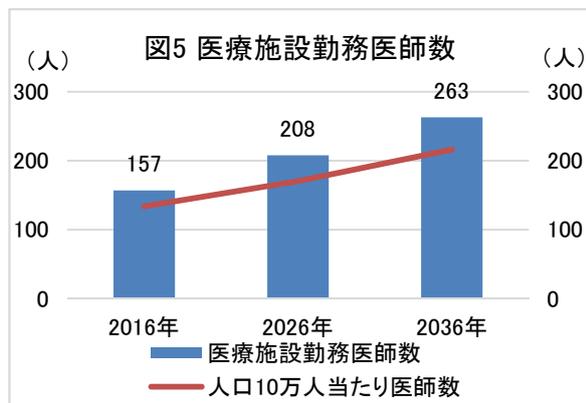
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて29人(-21%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(9%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は9%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて75人(110%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に16人(-18%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は28%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は88人(176%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて36人(116%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年20%、2036年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



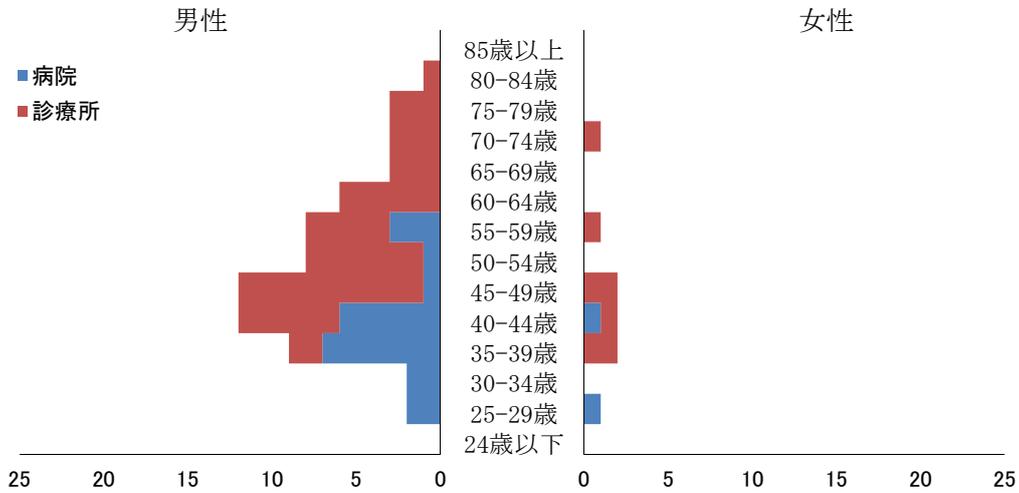
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山城南医療圏

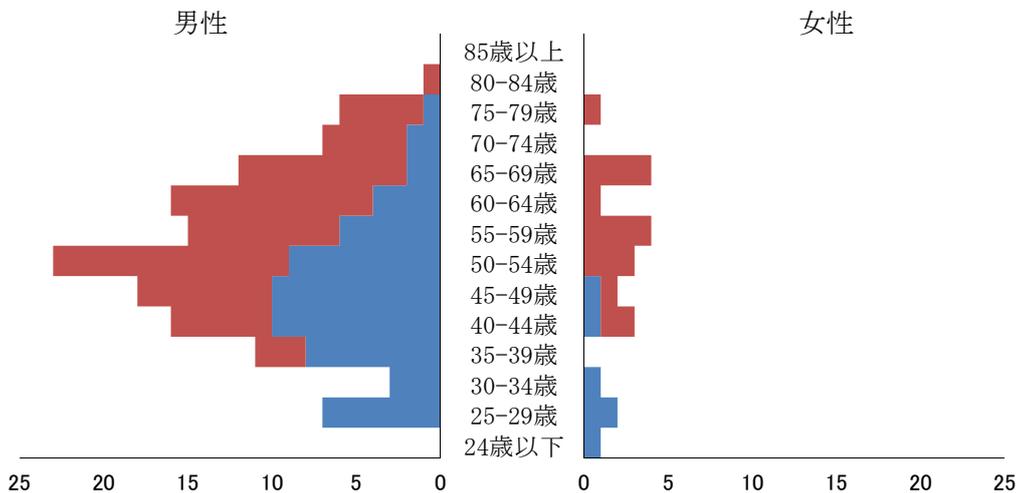
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

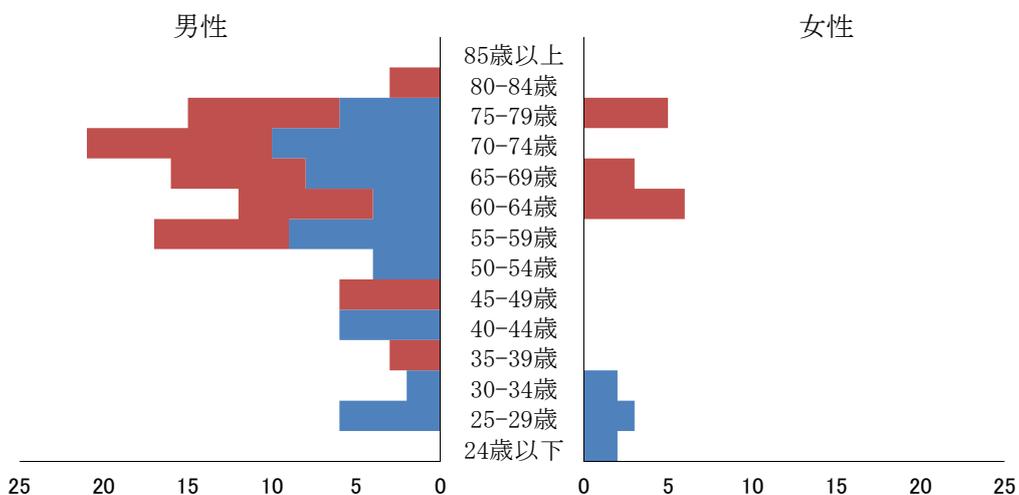
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

山城南医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	117,192	121,894	121,676	4,484	4%	4,702	4%	-218	0%	
医療施設勤務医師数	157	208	263	106	68%	51	32%	55	26%	
人口10万対	134.0	170.6	216.1	82.2	61%	36.7	27%	45.5	27%	
男性医師数	135	133	106	-29	-21%	-2	-1%	-27	-20%	
人口10万対	115.2	109.1	87.1	-28.1	-24%	-6.1	-5%	-22.0	-20%	
女性医師数	22	26	24	2	9%	4	18%	-2	-8%	
人口10万対	18.8	21.3	19.7	1.0	5%	2.6	14%	-1.6	-8%	
病院勤務医師数	68	103	143	75	110%	35	51%	40	39%	
人口10万対	58.0	84.5	117.5	59.5	103%	26.5	46%	33.0	39%	
診療所勤務医師数	89	92	73	-16	-18%	3	3%	-19	-21%	
人口10万対	75.9	75.5	60.0	-15.9	-21%	-0.5	-1%	-15.5	-21%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	14	15	15	1	7%	1	7%	0	0%
	35-49歳	50	75	138	88	176%	25	50%	63	84%
	50-64歳	62	63	43	-19	-31%	1	2%	-20	-32%
	65歳以上	31	55	67	36	116%	24	77%	12	22%
	75歳以上(再掲)	8	21	26	18	225%	13	163%	5	24%
男性	24-34歳	10	11	8	-2	-20%	1	10%	-3	-27%
	35-49歳	45	26	8	-37	-82%	-19	-42%	-18	-69%
	50-64歳	54	52	39	-15	-28%	-2	-4%	-13	-25%
	65歳以上	26	44	51	25	96%	18	69%	7	16%
	75歳以上(再掲)	7	16	19	12	171%	9	129%	3	19%
女性	24-34歳	4	4	7	3	75%	0	0%	3	75%
	35-49歳	5	1	1	-4	-80%	-4	-80%	0	0%
	50-64歳	8	12	6	-2	-25%	4	50%	-6	-50%
	65歳以上	5	9	10	5	100%	4	80%	1	11%
	75歳以上(再掲)	1	4	5	4	400%	3	300%	1	25%
病院	24-34歳	14	15	15	1	7%	1	7%	0	0%
	35-49歳	30	52	89	59	197%	22	73%	37	71%
	50-64歳	19	20	15	-4	-21%	1	5%	-5	-25%
	65歳以上	5	16	24	19	380%	11	220%	8	50%
	75歳以上(再掲)	1	2	6	5	500%	1	100%	4	200%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	20	10	10	-10	-50%	-10	-50%	0	0%
	50-64歳	43	41	21	-22	-51%	-2	-5%	-20	-49%
	65歳以上	26	41	42	16	62%	15	58%	1	2%
	75歳以上(再掲)	7	19	18	11	157%	12	171%	-1	-5%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)